

第2章 ウェブアンケート調査の結果

第1節 ウェブアンケート調査の実施概要

1 目的

横浜協会が2014年度に実施した「非正規で働くシングル女性(35～44歳)のニーズ・課題に関するヒアリング調査」(2015年3月報告書発行)では、非正規職シングル女性が、雇用と経済不安や自分の健康問題、親の介護、住まい方、孤立などの課題を抱えているのではないかと推察された。

本調査では、これらについてより多くの対象者からデータを収集することで実証し、より具体的な悩みや課題を浮き彫りにし、さらに社会的な支援策のあり方を具体的に探ることを目的に、多くの当事者の声を把握するために実施した。

2 実施概要

(1) 調査対象

横浜市、大阪市、福岡市を中心とする地域に在住し、非正規職で働いている35～54歳で子どものないシングル女性を対象とした*。

※35～44歳の層がさらに年齢を重ねた時の課題を想定するため、対象年齢を54歳までとした。

※非正規職には、個人事業主や業務請負など、雇用契約以外の人も含めた。

※シングルマザーについては、各種調査報告がすでに出ていることから対象外とした。

※横浜、大阪、福岡の3都市における状況把握を念頭に実施した。

(2) 調査方法

横浜協会が利用していたウェブ上のアンケートシステムを活用し、アンケート回答ページのURLを設定し、実施した。準備段階で調査専門会社に問い合わせたところ、予め対象者を層別に抽出して協力を依頼する方法では今回の対象者について回答数300件程度を収集するのは困難であろうとのことだった。そのため、業務委託ではなく調査主体が直接執行することとした。同時に、調査依頼を広めていく活動そのものが問題を伝え、キャンペーンとなることを意図して行うことにした。

具体的には、独自に専用のフェイスブックページおよびツイッターアカウントを立ち上げ、ウェブアンケート調査期間中に日々中間報告や寄せられた声などを載せて更新、SNSで拡散・協力を呼びかけていった。それと同時に、新聞等の紙媒体、インターネット上のウェブ媒体にも依頼し、取材と記事掲載を経て、キャンペーンを展開した。

(3) ウェブアンケート実施期間

2015年10月3日(土)～10月30日(金)

(4) 調査項目 (33 項目)

ウェブアンケート調査の項目には仕事の状況や収入はもとより、学歴、住まいと同居の状況、住居費負担、家計収入の構成、支援機関の利用、今後のサポートへの意向などを設定し、仕事と暮らしについて総合的に考察することを試みた。生活満足度・ゆとり感等についても、他の調査との比較を意図して盛り込んだ。

自由記述回答は「暮らしの悩みや不安」、「仕事に関する悩みや不安」(各 400 字まで)、「サポートへの意見・要望」(600 字まで)の 3 項目とし、その他は選択式の回答とした。

質問項目の内容は多岐に亘り、33 問にのぼった。これらは検討会での議論を経て設計し、決定された。

主な項目は以下の通りである。

※調査票は資料編参照

①回答者のプロフィール

年齢／居住地／最終学歴／婚姻歴／中学卒業時点の同居状況

②現在の暮らしについて

住居費負担の状況／現在の同居状況／要援護者の有無／

自身の税込年収／主な家計収入／

情報入手手段／インターネットの用途／

生活満足度／経済的なゆとり感／時間的なゆとり感／充実感を感じるとき／

悩みや不安【自由記述】／主な相談先

③仕事について

初職の就業形態／初職の職種／

現在の就業形態／現職の契約期間／現在の職種／

仕事のかけもち／週当たり労働時間／利用した支援機関／

非正規職についている理由／仕事に関する悩みや不安【自由記述】

④今後に向けて

今後の希望／取得したい資格／

利用したいサポート／参加できる曜日・時間帯

サポートへの意見・要望【自由記述】

グループインタビューへの協力意向について

(5) 回答状況

回答件数、有効回答件数は、次の通りである。

区分	件 (%)	備考
回答件数	279 (100.0%)	
有効回答件数	261 (93.5%)	非該当(子どもがいる、正規職である等)を除いた数

ウェブアンケート調査は、33 問の質問項目すべてに入力しなければ送信できず、回答者にはなんら特典がなかったにもかかわらず、多くの団体や個人の情報拡散への協力を得て、最終的に上記の回答件数を得ることができた。

なお、グループインタビューへの協力意向「あり」との回答者(メールアドレス記入者)は、261 人中 86 人(32.9%)であった。

第2節 集計の結果

■集計結果の見方

(1) 表記や数値について

- 「n」は、質問に対する回答者数で、比率算出の基数である。
- 「SA」は、質問に対する回答（選択）数を1つだけに設定した設問（Single Answer の略）、
「MA」は、質問に対して複数回答（選択）することができる設問（Multiple Answers の略）
のこと。MA の場合、回答数の合計を回答者数（n）で割った比率の値が100%を超える。
- 集計表の数値（パーセンテージ）は、小数点以下第二位を四捨五入しているため、内訳の個々の数値と合算した場合の数値とは必ずしも一致しない。
- 本調査はウェブ調査であり、選択肢のある質問への回答をすべて必須としているため、「無回答」の表記はない（ただし、自由記述欄への記入は任意）。

(2) 図表と回答者区分について

- 本報告書の図表は、基本的に単純集計結果のグラフと、属性別に回答分布をみる基本クロス集計表からなる。
- グラフは、カテゴリーの統合や数値の高い順に並べて掲載している場合がある。
- 基本クロス集計表は、「年齢」「最終学歴」「同居状況」「自身の税込年収」、現在の「就業形態」の各属性別に回答分布をみている。着色は、属性ごとに回答分布の特徴を見やすくするために施したものであり、濃色は1位、淡色は2位項目を示す（1位が3つ以上ある場合は2位に着色せず、1位のみ淡色とした）。
- 図表は、必要に応じてカテゴリーを統合して示している。基本クロス表のカテゴリーは、次の通りとした。
 - ①年齢（Q.1）：「35～39歳」「40～44歳」「45～54歳」に3区分（回答は1歳階級ごと）
 - ②最終学歴（Q.3）：中学卒業・高校卒業・高校中退・専門学校中退・短大中退・大学中退を「中卒・高卒・高卒相当」、短大卒業・専門学校卒業を「短大・専門学校卒」、大学卒業・大学院修了・大学院中退を「大学・大学院卒」に統合して3区分（「その他」についても、記述内容からいずれかのカテゴリーに分類）
 - ③同居状況（Q.7）：「同居者あり（一人暮らし以外）」と「一人暮らし」に2区分
 - ④自身の税込年収（Q.9）：「150万円未満」「150万円以上250万円未満」「250万円以上」に3区分（回答は50万円ごと）
 - ⑤現在の就業形態（Q.21）：自営業手伝い・業務請負・個人事業主を「業務請負等」に統合して5区分（「その他」との回答については、記載内容から該当するカテゴリーに分類した。ただし、現在無職の8人は除外）

(3) その他

- 本調査は、予め対象者を層別に抽出して協力を願う調査とは異なり、告知によって調査を知った人に自主的な回答を期待するものであり、回答者はインターネット利用者、告知媒体のアプローチが及ぶ人に限られていることを前提に、調査結果を捉える必要がある。

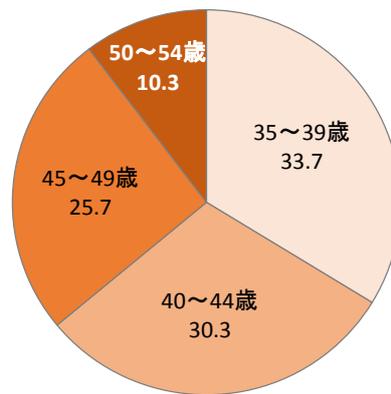
1 回答者のプロフィール

① 年齢

Q.1 あなたの年齢をお答えください。

回答者の年齢分布は、年齢が低いほど多く、高いほど少ない傾向がみられる。とくに 42 歳（1972～1973 年生まれ）が多くなっている。回答者の平均年齢は、42.6 歳である。

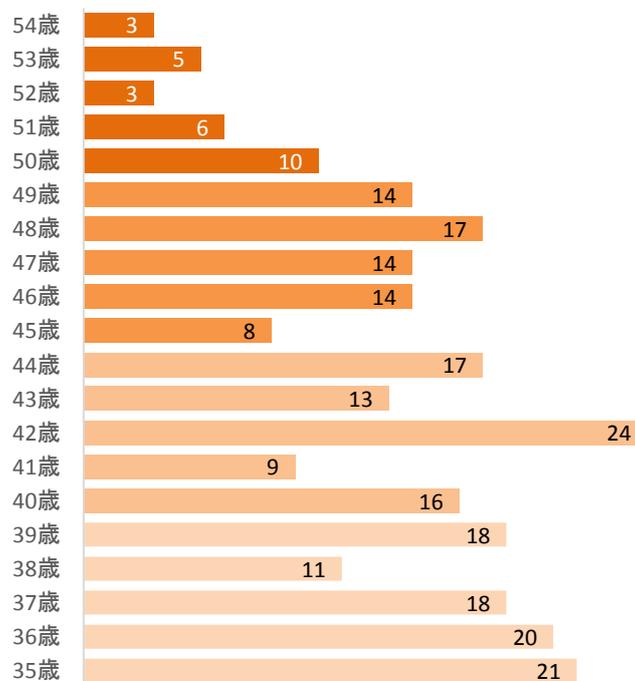
◆Q.1 年齢 (SA)



n=261
(単位: %)

※50～54 歳は少数であったため、クロス集計表では統合して 45～54 歳とした。

【年齢別分布】



n=261
(単位: 人)

計 261 人

② 居住地

Q.2 あなたの居住地をお答えください。

本調査は、横浜市、大阪市、福岡市在住者を主な対象としたが、実際の回答者は、「横浜市」39人(14.9%)、「大阪市」22人(8.4%)、「福岡市」16人(6.1%)で、それ以外の地域に在住する人が70.5%と7割を占めた。

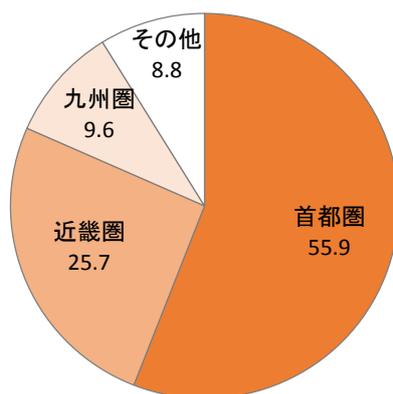
これを受け、集計にあたっては、居住地を「首都圏」、「近畿圏」、「九州圏」、「その他の地域」に区分し、それぞれの特徴をみることにした。ここでの地域区分は、次の通りである。

首都圏（横浜市を含む）	：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、栃木県
近畿圏（大阪市を含む）	：大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、三重県
九州圏（福岡市を含む）	：福岡県、長崎県、熊本県
その他の地域	：甲信越、中部圏、東北、北海道

都市圏ごとの回答者分布は、「首都圏」55.9%、「近畿圏」25.7%、「九州圏」9.6%、「その他の地域」が8.8%となっている。

就業形態別には「派遣社員」の77.0%が「首都圏」に集中し、自身の税込年収（以下、年収）「250万円以上」の人も「首都圏」への分布が多くなっており、就業の機会等に地域差がある状況がうかがわれる。

◆Q.2 居住地（SA）



n=261
(単位：%)

第2章 ウェブアンケート調査の結果

上段：人 下段：%		合計	Q.2 居住地（SA）			
			首都圏	近畿圏	九州圏	その他
全体		261 100.0	146 55.9	67 25.7	25 9.6	23 8.8
年齢	35～39歳	88 100.0	51 58.0	21 23.9	8 9.1	8 9.1
	40～44歳	79 100.0	41 51.9	22 27.8	8 10.1	8 10.1
	45～54歳	94 100.0	54 57.4	24 25.5	9 9.6	7 7.4
最終学歴	中卒・高卒・ 高卒相当	39 100.0	22 56.4	11 28.2	1 2.6	5 12.8
	短大・ 専門学校卒	83 100.0	50 60.2	15 18.1	9 10.8	9 10.8
	大学・ 大学院卒	139 100.0	74 53.2	41 29.5	15 10.8	9 6.5
同居状況	同居者あり	136 100.0	77 56.6	34 25.0	12 8.8	13 9.6
	一人暮らし	125 100.0	69 55.2	33 26.4	13 10.4	10 8.0
自身の 税込年 収	150万円未満	74 100.0	33 44.6	22 29.7	10 13.5	9 12.2
	150万円以上 250万円未満	104 100.0	61 58.7	20 19.2	13 12.5	10 9.6
	250万円以上	83 100.0	52 62.7	25 30.1	2 2.4	4 4.8
就業 形態	契約・嘱託	75 100.0	36 48.0	21 28.0	11 14.7	7 9.3
	派遣社員	61 100.0	47 77.0	9 14.8	1 1.6	4 6.6
	パート・ アルバイト	53 100.0	25 47.2	18 34.0	5 9.4	5 9.4
	非常勤	27 100.0	17 63.0	5 18.5	2 7.4	3 11.1
	業務請負等	37 100.0	15 40.5	14 37.8	5 13.5	3 8.1

※「現在の就業形態」からは、現在無職の8人を除いている（以下同様）。

③ 最終学歴

Q.3 あなたの最終学歴をお答えください。

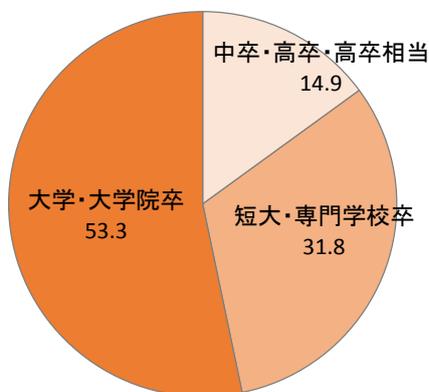
最終学歴は、下表のとおり「大学卒業」が40.6%で、「短大卒業」18.4%、「専門学校卒業」13.0%、「大学院修了」10.7%、「高校卒業」10.0%の順で見られる。

大きく3つのグループに区分すると「大学・大学院卒」（大学卒業以上）53.3%、「短大・専門学校卒」31.8%、「中卒・高卒・高卒相当」（高校・短大・専門学校・大学中退を含む）14.9%となっている。各校種とも中退が若干名ずつみられるが、中学卒業後進学しなかった人はいない。

属性別にみると、年齢では「35～39歳」、同居状況では「同居者あり」、就業形態では「非常勤」で、「大学・大学院卒」の比率の高さが目立ち、とくに「非常勤」では「大学院修了」が4割を超えている。

◆Q.3 最終学歴 (SA)

n=261
(単位：%)



上段：人 下段：%	合計	Q.3 最終学歴 (SA)												
		中学卒業	高校卒業	高校中退	専門学校卒業	専門学校中退	短大卒業	短大中退	大学卒業	大学中退	大学院修了	大学院中退	その他	
全体	261 100.0	0 0.0	26 10.0	1 0.4	34 13.0	2 0.8	48 18.4	2 0.8	106 40.6	7 2.7	28 10.7	4 1.5	3 1.1	
年齢	35～39歳	88 100.0	0 0.0	6 6.8	1 1.1	13 14.8	0 0.0	9 10.2	1 1.1	41 46.6	2 2.3	11 12.5	2 2.3	2 2.3
	40～44歳	79 100.0	0 0.0	13 16.5	0 0.0	9 11.4	2 2.5	14 17.7	0 0.0	31 39.2	3 3.8	6 7.6	0 0.0	1 1.3
	45～54歳	94 100.0	0 0.0	7 7.4	0 0.0	12 12.8	0 0.0	25 26.6	1 1.1	34 36.2	2 2.1	11 11.7	2 2.1	0 0.0
同居状況	同居者あり	136 100.0	0 0.0	13 9.6	0 0.0	16 11.8	1 0.7	21 15.4	1 0.7	70 51.5	4 2.9	6 4.4	2 1.5	2 1.5
	一人暮らし	125 100.0	0 0.0	13 10.4	1 0.8	18 14.4	1 0.8	27 21.6	1 0.8	36 28.8	3 2.4	22 17.6	2 1.6	1 0.8
自身の税込年収	150万円未満	74 100.0	0 0.0	8 10.8	0 0.0	10 13.5	0 0.0	19 25.7	1 1.4	25 33.8	3 4.1	6 8.1	0 0.0	2 2.7
	150万円以上 250万円未満	104 100.0	0 0.0	13 12.5	1 1.0	12 11.5	2 1.9	16 15.4	0 0.0	46 44.2	2 1.9	11 10.6	1 1.0	0 0.0
	250万円以上	83 100.0	0 0.0	5 6.0	0 0.0	12 14.5	0 0.0	13 15.7	1 1.2	35 42.2	2 2.4	11 13.3	3 3.6	1 1.2
就業形態	契約・嘱託	75 100.0	0 0.0	4 5.3	0 0.0	9 12.0	0 0.0	15 20.0	1 1.3	36 48.0	1 1.3	7 9.3	2 2.7	0 0.0
	派遣社員	61 100.0	0 0.0	8 13.1	0 0.0	11 18.0	0 0.0	10 16.4	1 1.6	26 42.6	0 0.0	3 4.9	2 3.3	0 0.0
	パート・アルバイト	53 100.0	0 0.0	7 13.2	0 0.0	4 7.5	1 1.9	17 32.1	0 0.0	19 35.8	2 3.8	3 5.7	0 0.0	0 0.0
	非常勤	27 100.0	0 0.0	2 7.4	0 0.0	3 11.1	0 0.0	2 7.4	0 0.0	7 25.9	0 0.0	12 44.4	0 0.0	1 3.7
	業務請負等	37 100.0	0 0.0	3 8.1	1 2.7	5 13.5	1 2.7	4 10.8	0 0.0	15 40.5	3 8.1	3 8.1	0 0.0	2 5.4

④ 婚姻歴

Q.4 あなたは、これまでに結婚（事実婚を含む）をしたことがありますか。

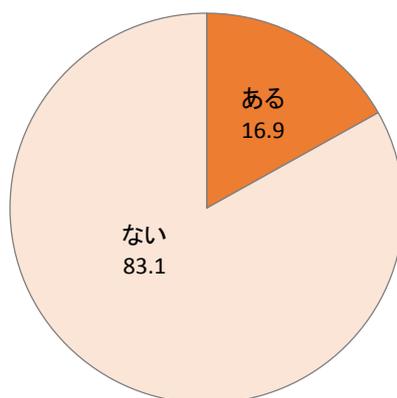
過去の婚姻歴は、「ない」が83.1%で、「ある」と答えた人は16.9%となっている。

属性別にみると、年齢では「45～54歳」、最終学歴では「大学・大学院卒」以外、同居状況では「一人暮らし」、年収では「150万円未満」で、婚姻歴がある人が2割を超えている。

なお、記述内容から、婚姻歴はないが、同性パートナーがいるケースも数人含まれていることが把握された。

◆Q.4 婚姻歴 (SA)

n=261
(単位：%)



上段：人 下段：%	合計	Q.4 婚姻歴 (SA)	
		ある	ない
全体	261 100.0	44 16.9	217 83.1
年齢	35～39歳	10 11.4	78 88.6
	40～44歳	14 17.7	65 82.3
	45～54歳	20 21.3	74 78.7
最終学歴	中卒・高卒・ 高卒相当	10 25.6	29 74.4
	短大・ 専門学校卒	20 24.1	63 75.9
	大学・ 大学院卒	14 10.1	125 89.9
	同居状況	17 12.5	119 87.5
自身の 税込年 収	同居者あり	17 12.5	119 87.5
	一人暮らし	27 21.6	98 78.4
	150万円未満	18 24.3	56 75.7
	150万円以上 250万円未満	17 16.3	87 83.7
就業形 態	250万円以上	9 10.8	74 89.2
	契約・嘱託	14 18.7	61 81.3
	派遣社員	7 11.5	54 88.5
	パート・ アルバイト	6 11.3	47 88.7
	非常勤	5 18.5	22 81.5
	業務請負等	7 18.9	30 81.1

⑤ 中学卒業時点の同居状況

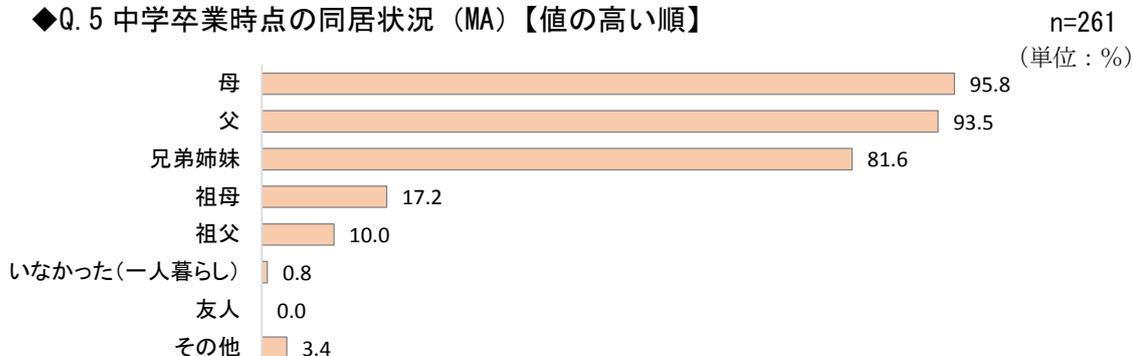
Q.5 15歳(中学卒業)時点で、同居していた方はどなたですか。あてはまる人をすべてお答えください。

中学卒業時点では、「母」と同居が95.8%、「父」と同居が93.5%で、両親との同居は89.7%であった。8割以上が「兄弟姉妹」と同居しており、3世代同居は約2割、ひとり親だったケースは約1割である。

厚生労働省「ひとり親家庭等の現状について」(平成27年4月20日資料)によると、1988(昭和63)年の「児童(18歳未満の未婚の者)のいる世帯のうち、ひとり親家庭の割合」で、「ひとり親世帯」は4.0%である。同様に1994(平成6)年では「ひとり親世帯」は4.2%、さらに2000(平成12)年では「ひとり親世帯」は5.1%である。

1988(昭和63)年調査時、今回の非正規職シングル女性の調査に回答している40歳の女性は12歳であり、2000(平成12)年には、本調査に回答している30歳の女性は14歳であった。これら調査の30代・40代の女性が、18歳未満の児童であった時の「ひとり親世帯」の割合が4.0%台だったのに比し、本調査では約1割とやや高くなっている。

◆Q.5 中学卒業時点の同居状況 (MA) 【値の高い順】



上段：人 下段：%	合計	Q.5 中学卒業時点の同居状況 (MA)								
		父	母	祖父	祖母	兄弟姉妹	友人	いなかった(一人暮らし)	その他	
全体	261 100.0	244 93.5	250 95.8	26 10.0	45 17.2	213 81.6	0 0.0	2 0.8	9 3.4	
年齢	35~39歳	88 100.0	86 97.7	85 96.6	15 17.0	19 21.6	65 73.9	0 0.0	0 0.0	5 5.7
	40~44歳	79 100.0	73 92.4	77 97.5	3 3.8	13 16.5	64 81.0	0 0.0	0 0.0	2 2.5
	45~54歳	94 100.0	85 90.4	88 93.6	8 8.5	13 13.8	84 89.4	0 0.0	2 2.1	2 2.1
最終学歴	中卒・高卒・高卒相当	39 100.0	36 92.3	34 87.2	2 5.1	6 15.4	30 76.9	0 0.0	1 2.6	1 2.6
	短大・専門学校卒	83 100.0	78 94.0	83 100.0	8 9.6	14 16.9	74 89.2	0 0.0	0 0.0	3 3.6
	大学・大学院卒	139 100.0	130 93.5	133 95.7	16 11.5	25 18.0	109 78.4	0 0.0	1 0.7	5 3.6
	同居状況	同居者あり	136 100.0	128 94.1	133 97.8	8 5.9	17 12.5	108 79.4	0 0.0	1 0.7
一人暮らし	125 100.0	116 92.8	117 93.6	18 14.4	28 22.4	105 84.0	0 0.0	1 0.8	7 5.6	
自身の税込年収	150万円未満	74 100.0	71 95.9	69 93.2	4 5.4	13 17.6	62 83.8	0 0.0	1 1.4	1 1.4
	150万円以上 250万円未満	104 100.0	96 92.3	102 98.1	9 8.7	17 16.3	81 77.9	0 0.0	1 1.0	6 5.8
	250万円以上	83 100.0	77 92.8	79 95.2	13 15.7	15 18.1	70 84.3	0 0.0	0 0.0	2 2.4
就業形態	契約・嘱託	75 100.0	67 89.3	71 94.7	10 13.3	14 18.7	62 82.7	0 0.0	1 1.3	2 2.7
	派遣社員	61 100.0	56 91.8	60 98.4	5 8.2	10 16.4	46 75.4	0 0.0	0 0.0	4 6.6
	パート・アルバイト	53 100.0	51 96.2	51 96.2	4 7.5	11 20.8	43 81.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	非常勤	27 100.0	27 100.0	27 100.0	1 3.7	1 3.7	23 85.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	業務請負等	37 100.0	36 97.3	34 91.9	6 16.2	8 21.6	34 91.9	0 0.0	0 0.0	2 5.4

2 現在の暮らしについて

(1) 暮らし方

① 住居費負担の状況

Q.6 あなたの住居費は以下のうち、どれですか。

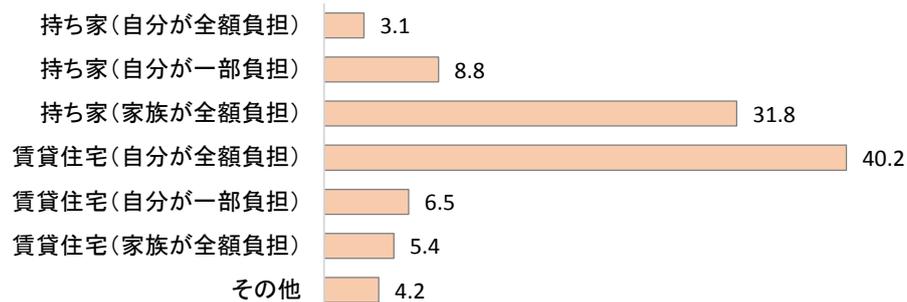
住居費の負担は、「賃貸住宅（自分が全額負担）」が 40.2%と最も多く、「持ち家（家族が全額負担）」が 31.8%でこれに次いでいる。

所有形態別にみると、「賃貸住宅」が 5 割を超え、住居費の負担別にみると、「自分が全額負担」が 4 割強、「家族が全額負担」が 4 割弱となっている。

属性別にみると、「一人暮らし」で「自分が全額負担」が 8 割を超えている。一方、年収「150 万円未満」および「パート・アルバイト」では「家族が全額負担」が過半数を占めている。

「その他」には、シェアハウス、ルームシェア、会社負担、元夫が負担、生活保護費より抛出などがあげられた。

◆Q.6 住居費負担の状況 (SA)



n=261
(単位：%)

第2章 ウェブアンケート調査の結果

上段：人 下段：%		合計	Q.6 住居費負担の状況 (SA)						
			持ち家(自分 が全額負担)	持ち家(自分 が一部負担)	持ち家(家族 が全額負担)	賃貸住宅 (自分が全額 負担)	賃貸住宅 (自分が一部 負担)	賃貸住宅 (家族が全額 負担)	その他
全体		261 100.0	8 3.1	23 8.8	83 31.8	105 40.2	17 6.5	14 5.4	11 4.2
年齢	35～39歳	88 100.0	0 0.0	3 3.4	32 36.4	35 39.8	10 11.4	6 6.8	2 2.3
	40～44歳	79 100.0	1 1.3	4 5.1	29 36.7	33 41.8	4 5.1	4 5.1	4 5.1
	45～54歳	94 100.0	7 7.4	16 17.0	22 23.4	37 39.4	3 3.2	4 4.3	5 5.3
最終学歴	中卒・高卒・ 高卒相当	39 100.0	0 0.0	1 2.6	9 23.1	16 41.0	5 12.8	3 7.7	5 12.8
	短大・ 専門学校卒	83 100.0	2 2.4	10 12.0	29 34.9	37 44.6	0 0.0	3 3.6	2 2.4
	大学・ 大学院卒	139 100.0	6 4.3	12 8.6	45 32.4	52 37.4	12 8.6	8 5.8	4 2.9
同居状況	同居者あり	136 100.0	4 2.9	19 14.0	75 55.1	3 2.2	17 12.5	11 8.1	7 5.1
	一人暮らし	125 100.0	4 3.2	4 3.2	8 6.4	102 81.6	0 0.0	3 2.4	4 3.2
自身の 税込年 収	150万円未満	74 100.0	2 2.7	4 5.4	35 47.3	17 23.0	2 2.7	10 13.5	4 5.4
	150万円以上 250万円未満	104 100.0	1 1.0	10 9.6	33 31.7	43 41.3	9 8.7	3 2.9	5 4.8
	250万円以上	83 100.0	5 6.0	9 10.8	15 18.1	45 54.2	6 7.2	1 1.2	2 2.4
就業 形態	契約・嘱託	75 100.0	4 5.3	8 10.7	24 32.0	27 36.0	7 9.3	2 2.7	3 4.0
	派遣社員	61 100.0	1 1.6	5 8.2	17 27.9	30 49.2	3 4.9	1 1.6	4 6.6
	パート・ アルバイト	53 100.0	1 1.9	6 11.3	22 41.5	15 28.3	3 5.7	6 11.3	0 0.0
	非常勤	27 100.0	1 3.7	0 0.0	8 29.6	14 51.9	2 7.4	2 7.4	0 0.0
	業務請負等	37 100.0	1 2.7	2 5.4	11 29.7	17 45.9	2 5.4	2 5.4	2 5.4

② 現在の同居状況

Q.7 現在、あなたが同居している方はどなたですか。あてはまる人をすべてお答えください。

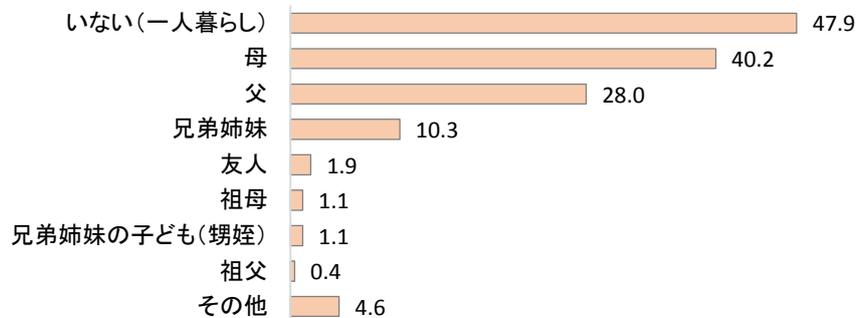
現在は、「同居者がいない（一人暮らし）」が47.9%と最も多い。次いで「母」が40.2%、「父」は28.0%で、同居者の中では「母」が最も多い。

「一人暮らし」の割合を属性別にみると、自身の税込年収が高いほど、また、年齢が高いほど高く、最終学歴別には「短大・専門学校卒」で「一人暮らし」が5割を超えている。就業形態別には「派遣社員」で「一人暮らし」の割合が最も高く、「パート・アルバイト」では最も低くなっている。

「その他」には、同性のパートナーや恋人などが4件のほか、義父、元夫などがあげられた。

◆Q.7 現在の同居状況（MA）【値の高い順】

n=261
(単位：%)



上段：人 下段：%	合計	Q.7 現在の同居状況（MA）									
		父	母	祖父	祖母	兄弟姉妹	兄弟姉妹の子ども(甥姪)	友人	いない(一人暮らし)	その他	
全体	261 100.0	73 28.0	105 40.2	1 0.4	3 1.1	27 10.3	3 1.1	5 1.9	125 47.9	12 4.6	
年齢	35～39歳	88 100.0	29 33.0	39 44.3	1 1.1	2 2.3	13 14.8	3 3.4	4 4.5	40 45.5	2 2.3
	40～44歳	79 100.0	27 34.2	29 36.7	0 0.0	1 1.3	9 11.4	0 0.0	0 0.0	38 48.1	5 6.3
	45～54歳	94 100.0	17 18.1	37 39.4	0 0.0	0 0.0	5 5.3	0 0.0	1 1.1	47 50.0	5 5.3
最終学歴	中卒・高卒・高卒相当	39 100.0	11 28.2	13 33.3	0 0.0	0 0.0	5 12.8	0 0.0	0 0.0	19 48.7	3 7.7
	短大・専門学校卒	83 100.0	20 24.1	32 38.6	0 0.0	1 1.2	10 12.0	1 1.2	0 0.0	46 55.4	2 2.4
	大学・大学院卒	139 100.0	42 30.2	60 43.2	1 0.7	2 1.4	12 8.6	2 1.4	5 3.6	60 43.2	7 5.0
自身の税込年収	150万円未満	74 100.0	30 40.5	39 52.7	1 1.4	1 1.4	9 12.2	0 0.0	0 0.0	27 36.5	2 2.7
	150万円以上 250万円未満	104 100.0	27 26.0	40 38.5	0 0.0	2 1.9	13 12.5	1 1.0	2 1.9	49 47.1	6 5.8
	250万円以上	83 100.0	16 19.3	26 31.3	0 0.0	0 0.0	5 6.0	2 2.4	3 3.6	49 59.0	4 4.8
就業形態	契約・嘱託	75 100.0	19 25.3	28 37.3	0 0.0	1 1.3	8 10.7	3 4.0	2 2.7	38 50.7	3 4.0
	派遣社員	61 100.0	13 21.3	22 36.1	0 0.0	1 1.6	6 9.8	0 0.0	1 1.6	33 54.1	3 4.9
	パート・アルバイト	53 100.0	21 39.6	29 54.7	1 1.9	1 1.9	6 11.3	0 0.0	0 0.0	19 35.8	1 1.9
	非常勤	27 100.0	9 33.3	11 40.7	0 0.0	0 0.0	1 3.7	0 0.0	1 3.7	13 48.1	2 7.4
	業務請負等	37 100.0	9 24.3	11 29.7	0 0.0	0 0.0	4 10.8	0 0.0	1 2.7	19 51.4	2 5.4

③ 要援護者の有無

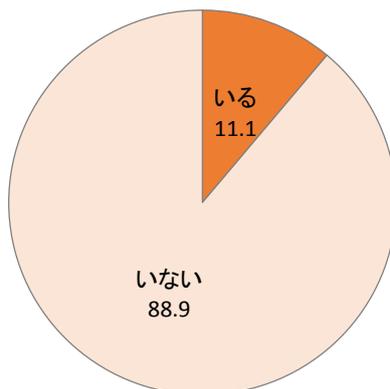
Q.8 現在、あなたが介助・介護しなければならない人はいますか。

要援護者が「いる」と答えた人は11.1%と、約1割みられる。

属性別にみると、年齢では「45～54歳」、年収では「150万円未満」で、要援護者のいる人の割合が高くなっている。

◆Q.8 要援護者の有無 (SA)

n=261
(単位：%)



上段：人 下段：%		合計	Q.8 要援護者の有無 (SA)	
			いる	いない
全体		261 100.0	29 11.1	232 88.9
年齢	35～39歳	88 100.0	6 6.8	82 93.2
	40～44歳	79 100.0	6 7.6	73 92.4
	45～54歳	94 100.0	17 18.1	77 81.9
最終学歴	中卒・高卒・ 高卒相当	39 100.0	4 10.3	35 89.7
	短大・ 専門学校卒	83 100.0	11 13.3	72 86.7
	大学・ 大学院卒	139 100.0	14 10.1	125 89.9
	同居状況	同居者あり	136 100.0	17 12.5
	一人暮らし	125 100.0	12 9.6	113 90.4
自身の 税込年 収	150万円未満	74 100.0	12 16.2	62 83.8
	150万円以上 250万円未満	104 100.0	9 8.7	95 91.3
	250万円以上	83 100.0	8 9.6	75 90.4
	就業 形態	契約・嘱託	75 100.0	8 10.7
派遣社員		61 100.0	8 13.1	53 86.9
パート・ アルバイト		53 100.0	6 11.3	47 88.7
非常勤		27 100.0	2 7.4	25 92.6
業務請負等		37 100.0	3 8.1	34 91.9

④ 自身の税込年収

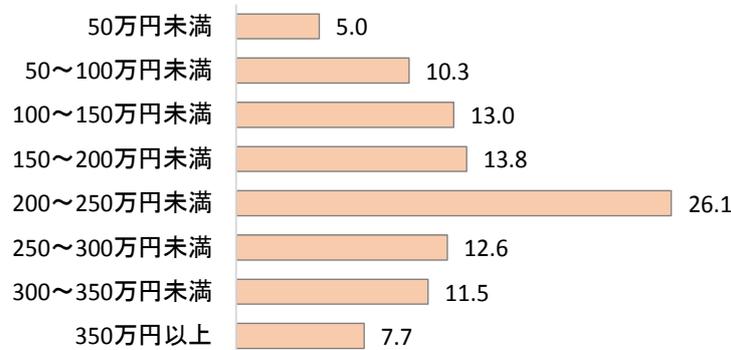
Q.9 あなたの年収（税込）は、おおよそどれくらいですか。
仕事から得られる収入のみでお答えください。

自身の税込年収は、「200～250万円未満」が26.1%と最も多い。全体を3区分すると「150万円以上250万円未満」が約4割、「250万円以上」が3割強、「150万円未満」が3割弱の分布状況である。

属性別にみると、学歴が高いほど年収が高い傾向がみられる一方、年齢が高いほど「150万円未満」の比率も高くなっている。就業形態別には「契約・嘱託」で約5割、「派遣社員」で4割強が「250万円以上」となっている。一方、「パート・アルバイト」では「150万円未満」が6割を超え、年収の低い人が多い。

◆Q.9 自身の税込年収（SA）

n=261
(単位：%)



上段：人 下段：%		合計	Q.9 自身の税込年収（SA）							
			50万円 未満	50～100万 円未満	100～150万 円未満	150～200万 円未満	200～250万 円未満	250～300万 円未満	300～350万 円未満	350万円 以上
全体		261 100.0	13 5.0	27 10.3	34 13.0	36 13.8	68 26.1	33 12.6	30 11.5	20 7.7
年齢	35～39歳	88 100.0	5 5.7	9 10.2	8 9.1	15 17.0	22 25.0	15 17.0	10 11.4	4 4.5
	40～44歳	79 100.0	3 3.8	7 8.9	10 12.7	14 17.7	20 25.3	7 8.9	11 13.9	7 8.9
	45～54歳	94 100.0	5 5.3	11 11.7	16 17.0	7 7.4	26 27.7	11 11.7	9 9.6	9 9.6
最終学歴	中卒・高卒・ 高卒相当	39 100.0	3 7.7	5 12.8	5 12.8	10 25.6	8 20.5	4 10.3	3 7.7	1 2.6
	短大・ 専門学校卒	83 100.0	3 3.6	12 14.5	14 16.9	11 13.3	17 20.5	10 12.0	9 10.8	7 8.4
	大学・ 大学院卒	139 100.0	7 5.0	10 7.2	15 10.8	15 10.8	43 30.9	19 13.7	18 12.9	12 8.6
	同居状況	136 100.0	11 8.1	18 13.2	18 13.2	17 12.5	38 27.9	15 11.0	13 9.6	6 4.4
就業形態	同居者あり	125 100.0	2 1.6	9 7.2	16 12.8	19 15.2	30 24.0	18 14.4	17 13.6	14 11.2
	一人暮らし	136 100.0	11 8.1	18 13.2	18 13.2	17 12.5	38 27.9	15 11.0	13 9.6	6 4.4
	契約・嘱託	75 100.0	2 2.7	3 4.0	6 8.0	8 10.7	19 25.3	13 17.3	13 17.3	11 14.7
	派遣社員	61 100.0	1 1.6	1 1.6	1 1.6	8 13.1	24 39.3	12 19.7	10 16.4	4 6.6
	パート・ アルバイト	53 100.0	2 3.8	15 28.3	17 32.1	9 17.0	8 15.1	0 0.0	2 3.8	0 0.0
非常勤	27 100.0	0 0.0	3 11.1	5 18.5	5 18.5	9 33.3	2 7.4	2 7.4	1 3.7	
業務請負等	37 100.0	3 8.1	5 13.5	4 10.8	6 16.2	8 21.6	6 16.2	1 2.7	4 10.8	

⑤ 主な家計収入

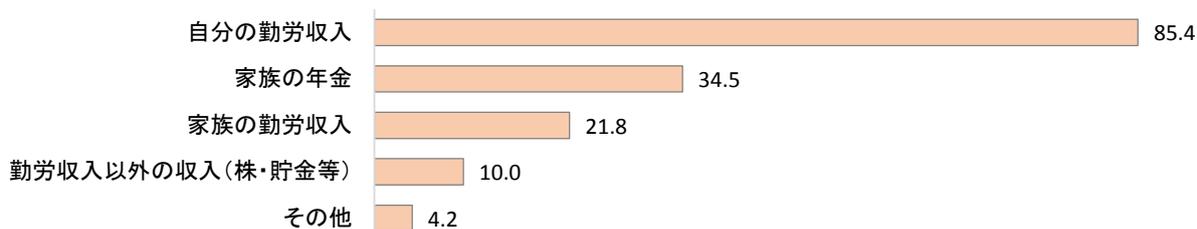
Q.10 あなたの世帯の主な家計収入は何ですか。主なものを3つまでお答えください。

世帯の主な家計収入は、「自分の勤労収入」を85.4%があげ、次いで「家族の年金」を34.5%があげている。

「その他」には、失業保険、傷病手当、障害年金、生活保護、家賃収入などのほか「家にあるものを売っている」との記述もみられた。

◆Q.10 主な家計収入 (MA) 【値の高い順】

n=261
(単位：%)

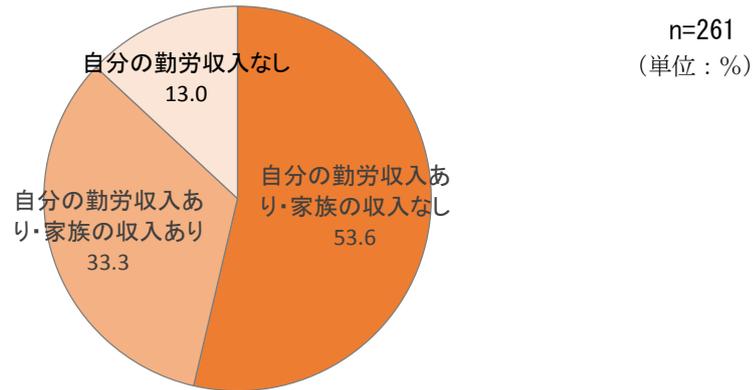


上段：人 下段：%	合計	Q.10 主な家計収入 (MA)					
		自分の勤労収入	勤労収入以外の収入(株・貯金等)	家族の勤労収入	家族の年金	その他	
全体	261 100.0	223 85.4	26 10.0	57 21.8	90 34.5	11 4.2	
年齢	35～39歳	88 100.0	73 83.0	6 6.8	30 34.1	30 34.1	3 3.4
	40～44歳	79 100.0	70 88.6	8 10.1	15 19.0	26 32.9	2 2.5
	45～54歳	94 100.0	80 85.1	12 12.8	12 12.8	34 36.2	6 6.4
	中卒・高卒・高卒相当	39 100.0	29 74.4	2 5.1	12 30.8	11 28.2	4 10.3
最終学歴	短大・専門学校卒	83 100.0	67 80.7	7 8.4	16 19.3	21 25.3	5 6.0
	大学・大学院卒	139 100.0	127 91.4	17 12.2	29 20.9	58 41.7	2 1.4
	同居状況	同居者あり	136 100.0	101 74.3	13 9.6	52 38.2	87 64.0
一人暮らし	125 100.0	122 97.6	13 10.4	5 4.0	3 2.4	5 4.0	
自身の税込年収	150万円未満	74 100.0	47 63.5	10 13.5	24 32.4	35 47.3	7 9.5
	150万円以上 250万円未満	104 100.0	96 92.3	8 7.7	21 20.2	35 33.7	3 2.9
	250万円以上	83 100.0	80 96.4	8 9.6	12 14.5	20 24.1	1 1.2
	就業形態	契約・嘱託	75 100.0	68 90.7	9 12.0	15 20.0	21 28.0
派遣社員		61 100.0	58 95.1	3 4.9	11 18.0	18 29.5	0 0.0
パート・アルバイト		53 100.0	41 77.4	6 11.3	14 26.4	27 50.9	5 9.4
非常勤		27 100.0	23 85.2	2 7.4	8 29.6	9 33.3	0 0.0
業務請負等		37 100.0	30 81.1	4 10.8	8 21.6	12 32.4	2 5.4

世帯の家計収入を、自分の勤労収入の有無に着目して類型化してみると、「自分の勤労収入あり・家族の収入（勤労収入または年金）なし」53.6%、「自分の勤労収入あり・家族の収入あり」が33.3%、「自分の勤労収入なし」が13.0%となっている。

属性別にみると、年齢が高いほど、家族の収入がない人の比率が高くなっている。同居状況を見ると「父」と同居しているケース、就業形態別には「パート・アルバイト」、職種別には「接客・販売」で、家族の収入への依存度が他より高くなっている。

【家計収入の類型（再集計）】



上段：人 下段：%		合計	自分の勤労収入あり ・家族の収入なし	自分の勤労収入あり ・家族の収入あり	自分の勤労収入なし
全体		261 100.0	140 53.6	87 33.3	34 13.0
年齢 (4区分)	35～39歳	88 100.0	43 48.9	30 34.1	15 17.0
	40～44歳	79 100.0	46 58.2	25 31.6	8 10.1
	45～49歳	67 100.0	35 52.2	21 31.3	11 16.4
	50～54歳	27 100.0	16 59.3	11 40.7	0 0.0
同居状況 (再区分)	同居（父との同居あり）	73 100.0	3 4.1	46 63.0	24 32.9
	同居（父との同居なし）	62 100.0	21 33.9	34 54.8	7 11.3
	一人暮らし	126 100.0	116 92.1	7 5.6	3 2.4
就業 形態	契約・嘱託	75 100.0	44 58.7	24 32.0	7 9.3
	派遣社員	61 100.0	38 62.3	20 32.8	3 4.9
	パート・アルバイト	53 100.0	19 35.8	24 45.3	10 18.9
	非常勤	27 100.0	15 55.6	8 29.6	4 14.8
	業務請負等	37 100.0	22 59.5	9 24.3	6 16.2
	その他（調査時無職）	8 100.0	2 25.0	2 25.0	4 50.0
職種	事務職	116 100.0	60 51.7	39 33.6	17 14.7
	専門・技術職	63 100.0	41 65.1	18 28.6	4 6.3
	医療・福祉職	22 100.0	13 59.1	6 27.3	3 13.6
	教育職	20 100.0	13 65.0	7 35.0	0 0.0
	接客・販売	21 100.0	7 33.3	10 47.6	4 19.0
	その他（営業・現業等）	19 100.0	6 31.6	7 36.8	6 31.6

※「就業形態」の「その他（調査時無職）」には、傷病手当受給中、現在契約切れ等を含む。

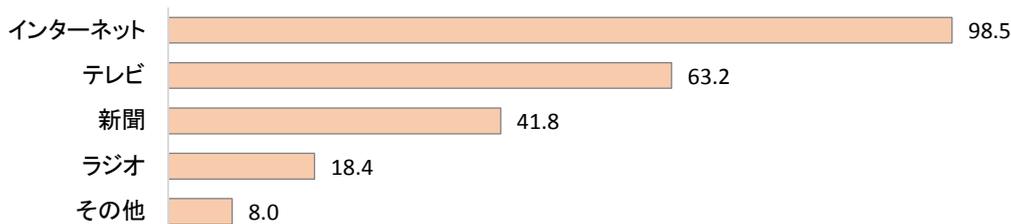
⑥ 情報入手手段

Q.11 あなたは日ごろ、どのような手段で情報を知ったり、集めたりしていますか。
あてはまるものをいくつでもお答えください。

情報入手手段としては、「インターネット」を98.5%があげ、次いで「テレビ」63.2%、「新聞」41.8%の順でみられる（本調査はウェブ上で実施しており、回答者＝インターネット利用者であるともいえる）。

◆Q.11 情報入手手段（MA）【値の高い順】

n=261
(単位：%)



上段：人 下段：%		合計	Q.11 情報入手手段（MA）				
			インターネット	テレビ	ラジオ	新聞	その他
全体		261 100.0	257 98.5	165 63.2	48 18.4	109 41.8	21 8.0
年齢	35～39歳	88 100.0	88 100.0	50 56.8	13 14.8	24 27.3	8 9.1
	40～44歳	79 100.0	79 100.0	49 62.0	14 17.7	32 40.5	6 7.6
	45～54歳	94 100.0	90 95.7	66 70.2	21 22.3	53 56.4	7 7.4
最終学歴	中卒・高卒・ 高卒相当	39 100.0	38 97.4	22 56.4	4 10.3	6 15.4	3 7.7
	短大・ 専門学校卒	83 100.0	83 100.0	51 61.4	15 18.1	34 41.0	5 6.0
	大学・ 大学院卒	139 100.0	136 97.8	92 66.2	29 20.9	69 49.6	13 9.4
同居状況	同居者あり	136 100.0	134 98.5	86 63.2	22 16.2	73 53.7	11 8.1
	一人暮らし	125 100.0	123 98.4	79 63.2	26 20.8	36 28.8	10 8.0
自身の 税込年 収	150万円未満	74 100.0	70 94.6	45 60.8	14 18.9	35 47.3	4 5.4
	150万円以上 250万円未満	104 100.0	104 100.0	68 65.4	22 21.2	41 39.4	8 7.7
	250万円以上	83 100.0	83 100.0	52 62.7	12 14.5	33 39.8	9 10.8
就業 形態	契約・嘱託	75 100.0	73 97.3	50 66.7	17 22.7	34 45.3	7 9.3
	派遣社員	61 100.0	61 100.0	42 68.9	8 13.1	25 41.0	1 1.6
	パート・ アルバイト	53 100.0	52 98.1	27 50.9	10 18.9	23 43.4	5 9.4
	非常勤	27 100.0	26 96.3	17 63.0	5 18.5	15 55.6	3 11.1
	業務請負等	37 100.0	37 100.0	23 62.2	6 16.2	10 27.0	5 13.5

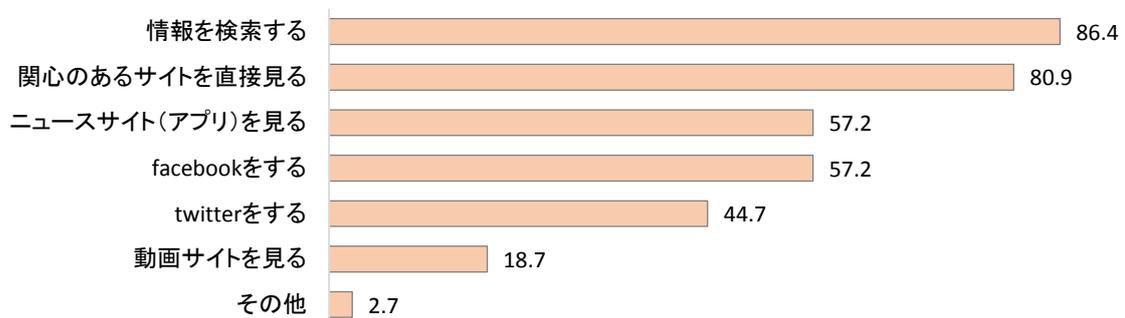
⑦ インターネットの用途

【Q11で「インターネット」を選んだ場合】インターネットでどのように情報を知ったり、集めたりしていますか。あてはまるものをいくつでもお答えください。

情報入手手段として「インターネット」をあげた人に具体的な用途をたずねたところ、情報検索やニュースアプリの利用といった“情報の摂取”が多く、facebook（フェイスブック）、twitter（ツイッター）といった“参加型のコミュニケーション”も7割以上が利用していることがわかった（「facebookをする」か「twitterをする」の一方または両方を選択した人79.3%）。

◆Q.11-2 インターネットの用途（MA）【値の高い順】

n=257
(単位：%)



上段：人 下段：%	合計	【Q.11の情報入手手段で「インターネット」と答えた人】 Q.11-2 インターネットの用途（MA）							
		情報を検索する	関心のあるサイトを直接見る	facebookをする	twitterをする	ニュースサイト(アプリ)を見る	動画サイトを見る	その他	
全体	257 100.0	222 86.4	208 80.9	147 57.2	115 44.7	147 57.2	48 18.7	7 2.7	
年齢	35～39歳	88 100.0	76 86.4	70 79.5	49 55.7	48 54.5	43 48.9	14 15.9	3 3.4
	40～44歳	79 100.0	68 86.1	66 83.5	48 60.8	37 46.8	48 60.8	15 19.0	1 1.3
	45～54歳	90 100.0	78 86.7	72 80.0	50 55.6	30 33.3	56 62.2	19 21.1	3 3.3
最終学歴	中卒・高卒・高卒相当	38 100.0	31 81.6	28 73.7	21 55.3	23 60.5	23 60.5	6 15.8	1 2.6
	短大・専門学校卒	83 100.0	66 79.5	66 79.5	44 53.0	37 44.6	47 56.6	16 19.3	1 1.2
	大学・大学院卒	136 100.0	125 91.9	114 83.8	82 60.3	55 40.4	77 56.6	26 19.1	5 3.7
同居状況	同居者あり	134 100.0	115 85.8	101 75.4	66 49.3	52 38.8	70 52.2	23 17.2	3 2.2
	一人暮らし	123 100.0	107 87.0	107 87.0	81 65.9	63 51.2	77 62.6	25 20.3	4 3.3
自身の税込年収	150万円未満	70 100.0	61 87.1	54 77.1	37 52.9	28 40.0	36 51.4	15 21.4	2 2.9
	150万円以上 250万円未満	104 100.0	85 81.7	84 80.8	61 58.7	45 43.3	61 58.7	16 15.4	2 1.9
	250万円以上	83 100.0	76 91.6	70 84.3	49 59.0	42 50.6	50 60.2	17 20.5	3 3.6
就業形態	契約・嘱託	73 100.0	64 87.7	65 89.0	44 60.3	31 42.5	42 57.5	17 23.3	3 4.1
	派遣社員	61 100.0	53 86.9	43 70.5	34 55.7	29 47.5	39 63.9	8 13.1	2 3.3
	パート・アルバイト	52 100.0	45 86.5	41 78.8	27 51.9	24 46.2	25 48.1	13 25.0	0 0.0
	非常勤	26 100.0	19 73.1	19 73.1	10 38.5	12 46.2	14 53.8	1 3.8	1 3.8
	業務請負等	37 100.0	33 89.2	32 86.5	27 73.0	15 40.5	25 67.6	8 21.6	0 0.0

(2) 生活実感

① 生活満足度

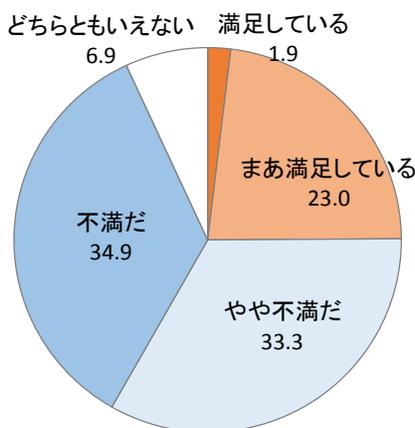
Q.12 あなたは、全体として、現在の生活にどの程度満足していますか。

現在の生活への満足度については、「不満だ」と「やや不満だ」が計68.2%で、「満足している」と「まあ満足している」は計24.9%、「どちらともいえない」が6.9%となっている。

属性別にみると、年齢が高いほど、学歴が低いほど、また、自身の年収が低いほど“不満”との回答の比率が高くなっている。

◆Q.12 生活満足度 (SA)

n=261
(単位：%)



上段：人 下段：%	合計	Q.12 生活満足度 (SA)					
		満足している	まあ満足している	やや不満だ	不満だ	どちらともいえない	
全体	261 100.0	5 1.9	60 23.0	87 33.3	91 34.9	18 6.9	
年齢	35~39歳	88 100.0	2 2.3	19 21.6	37 42.0	25 28.4	5 5.7
	40~44歳	79 100.0	1 1.3	19 24.1	24 30.4	30 38.0	5 6.3
	45~54歳	94 100.0	2 2.1	22 23.4	26 27.7	36 38.3	8 8.5
最終学歴	中卒・高卒・高卒相当	39 100.0	0 0.0	5 12.8	14 35.9	19 48.7	1 2.6
	短大・専門学校卒	83 100.0	2 2.4	21 25.3	22 26.5	34 41.0	4 4.8
	大学・大学院卒	139 100.0	3 2.2	34 24.5	51 36.7	38 27.3	13 9.4
	同居状況	136 100.0	3 2.2	32 23.5	45 33.1	50 36.8	6 4.4
自身の税込年収	同居者あり	125 100.0	2 1.6	28 22.4	42 33.6	41 32.8	12 9.6
	150万円未満	74 100.0	2 2.7	15 20.3	18 24.3	30 40.5	9 12.2
	150万円以上 250万円未満	104 100.0	0 0.0	18 17.3	44 42.3	37 35.6	5 4.8
	250万円以上	83 100.0	3 3.6	27 32.5	25 30.1	24 28.9	4 4.8
就業形態	契約・嘱託	75 100.0	3 4.0	24 32.0	20 26.7	25 33.3	3 4.0
	派遣社員	61 100.0	1 1.6	10 16.4	25 41.0	22 36.1	3 4.9
	パート・アルバイト	53 100.0	0 0.0	7 13.2	20 37.7	18 34.0	8 15.1
	非常勤	27 100.0	1 3.7	8 29.6	8 29.6	7 25.9	3 11.1
	業務請負等	37 100.0	0 0.0	11 29.7	13 35.1	13 35.1	0 0.0

内閣府が実施した「国民生活に関する世論調査」(2015年6月調査)の結果をみると、30～49歳の女性の約7割が現在の生活を“満足”としており、同年代の男性にも増して満足度が高い状況にある。“不満”は3割弱である。

一方、本調査では“満足”が24.9%、“不満”が68.2%という逆転した結果となっており、両調査の結果に大きな違いがあることが注目される。

【参考】内閣府「国民生活に関する世論調査」(2015年6月調査)より(その1)

◆現在の生活に対する満足度(SA)

整数:人 小数:%	該当者数	満足 している	まあ満足 している	やや 不満だ	不満だ	どちらとも いえない	わからない
総数	5,839	10.1	60.0	23.0	6.0	0.7	0.2
(女性)	3,125	11.1	60.7	21.7	5.7	0.7	0.1
20～29歳	232	19.8	63.8	12.1	3.4	-	0.9
30～39歳	412	12.1	62.6	20.9	4.1	0.2	-
40～49歳	569	7.6	61.9	25.1	4.7	0.7	-
50～59歳	543	10.5	56.2	27.1	6.1	0.2	-
60～69歳	659	8.8	61.5	22.8	5.9	0.9	0.2
70歳以上	710	13.1	60.4	17.3	7.7	1.3	0.1
(男性)	2,714	9.0	59.1	24.5	6.3	0.8	0.2
20～29歳	221	13.1	61.5	19.9	5.0	-	0.5
30～39歳	334	11.4	59.0	24.6	5.1	-	-
40～49歳	488	8.6	55.7	29.1	5.3	1.0	0.2
50～59歳	473	9.5	57.1	26.8	6.1	0.4	-
60～69歳	622	6.9	61.3	21.9	8.4	1.1	0.5
70歳以上	576	8.2	60.6	23.4	6.4	1.4	-
〔従業上の地位〕							
雇用者	2,906	9.2	62.0	23.6	4.6	0.5	0.1
自営業主	612	12.4	53.3	27.1	6.9	0.3	-
家族従事者	151	12.6	66.2	18.5	2.0	0.7	-
無職	2,170	10.5	58.7	21.4	8.0	1.2	0.2
主婦	1,251	11.4	60.4	20.3	7.1	0.9	-
主夫	71	7.0	50.7	31.0	9.9	-	1.4
その他の無職	848	9.6	57.0	22.2	9.1	1.8	0.5
〔職業〕							
管理・専門技術・事務職	1,571	11.1	64.9	20.5	2.9	0.5	0.1
管理職	181	15.5	71.8	12.7	-	-	-
専門・技術職	636	10.5	63.5	22.2	3.0	0.6	0.2
事務職	754	10.6	64.3	21.0	3.6	0.5	-
販売・サービス・保安職	1,066	9.6	57.9	25.4	6.7	0.2	0.3
農林漁業職	132	8.3	66.7	23.5	1.5	-	-
生産・輸送・建設・労務職	900	8.3	56.0	28.3	6.6	0.8	-

② 経済的なゆとり感

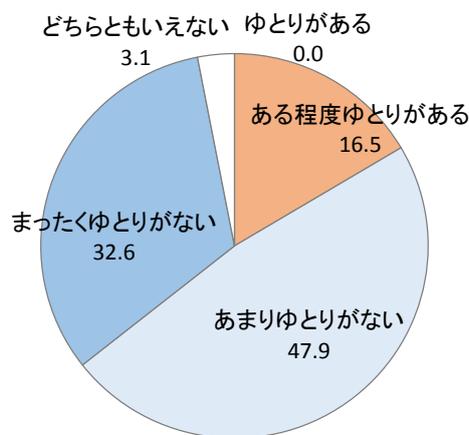
Q.13 あなたは現在、経済的にゆとりがありますか。

経済的なゆとり感については、「あまりゆとりがない」と「まったくゆとりがない」が計80.5%、「ある程度ゆとりがある」は16.5%、「どちらともいえない」が3.1%、「ゆとりがある」は皆無であった。

属性別にみると、年収が低いほど、最終学歴が低いほど“ゆとりがない”との回答の比率が高い。就業形態別では「パート・アルバイト」、「非常勤」、「業務請負等」で、「まったくゆとりがない」が4割を超えている。

◆Q.13 経済的なゆとり感 (SA)

n=261
(単位：%)



上段：人 下段：%		合計	Q.13 経済的なゆとり感 (SA)				
			ゆとりがある	ある程度 ゆとりがある	あまり ゆとりがない	まったく ゆとりがない	どちらとも いえない
全体		261 100.0	0 0.0	43 16.5	125 47.9	85 32.6	8 3.1
年齢	35～39歳	88 100.0	0 0.0	20 22.7	45 51.1	21 23.9	2 2.3
	40～44歳	79 100.0	0 0.0	11 13.9	32 40.5	34 43.0	2 2.5
	45～54歳	94 100.0	0 0.0	12 12.8	48 51.1	30 31.9	4 4.3
最終学歴	中卒・高卒・ 高卒相当	39 100.0	0 0.0	4 10.3	11 28.2	23 59.0	1 2.6
	短大・ 専門学校卒	83 100.0	0 0.0	15 18.1	37 44.6	29 34.9	2 2.4
	大学・ 大学院卒	139 100.0	0 0.0	24 17.3	77 55.4	33 23.7	5 3.6
	同居状況	136 100.0	0 0.0	23 16.9	75 55.1	34 25.0	4 2.9
自身の 税込 年収	同居者あり	125 100.0	0 0.0	20 16.0	50 40.0	51 40.8	4 3.2
	一人暮らし	136 100.0	0 0.0	23 16.9	75 55.1	34 25.0	4 2.9
	150万円未満	74 100.0	0 0.0	7 9.5	28 37.8	39 52.7	0 0.0
	150万円以上 250万円未満	104 100.0	0 0.0	9 8.7	65 62.5	27 26.0	3 2.9
就業 形態	250万円以上	83 100.0	0 0.0	27 32.5	32 38.6	19 22.9	5 6.0
	契約・嘱託	75 100.0	0 0.0	18 24.0	39 52.0	16 21.3	2 2.7
	派遣社員	61 100.0	0 0.0	9 14.8	35 57.4	16 26.2	1 1.6
	パート・ アルバイト	53 100.0	0 0.0	5 9.4	23 43.4	23 43.4	2 3.8
	非常勤	27 100.0	0 0.0	5 18.5	9 33.3	11 40.7	2 7.4
業務請負等	37 100.0	0 0.0	5 13.5	16 43.2	15 40.5	1 2.7	

「国民生活に関する世論調査」(2015年6月調査)のうち、現在の「所得・収入」に対する満足度をみると、30～49歳の女性の約5割が現在の所得・収入に“満足”と答えており、同年代の男性にも増して満足度が高い状況にある。また、“不満”も約5割であった。

本調査では「経済的にゆとりがありますか」という設問であり、聞き方はやや異なるが、「ゆとりがある程度ある」と答えた人が16.5%と少なく、「ゆとりがある」は一人もいない。逆に“ゆとりがない”が合わせて8割にのぼっており、両調査の結果に大きな違いがあることが注目される。

【参考】内閣府「国民生活に関する世論調査」(2015年6月調査)より(その2)

◆現在の「所得・収入」に対する満足度(SA)

整数:人 小数:%	該当者数	満足 している	まあ満足 している	やや 不満だ	不満だ	どちらとも いえない	わからない
総数	5,839	6.3	39.4	36.2	16.6	1.0	0.6
(女性)	3,125	6.9	41.4	34.5	15.6	0.9	0.8
20～29歳	232	7.3	43.1	34.9	10.3	2.2	2.2
30～39歳	412	6.1	44.9	35.0	14.1	-	-
40～49歳	569	6.0	41.5	39.0	13.4	0.2	-
50～59歳	543	5.3	42.9	33.9	17.9	-	-
60～69歳	659	5.9	37.6	37.0	17.3	1.4	0.8
70歳以上	710	10.1	41.0	28.5	16.6	1.8	2.0
(男性)	2,714	5.5	37.2	38.1	17.7	1.0	0.4
20～29歳	221	7.7	38.0	38.9	12.7	0.5	2.3
30～39歳	334	6.3	38.6	41.6	13.2	-	0.3
40～49歳	488	4.1	36.5	43.0	15.8	0.4	0.2
50～59歳	473	5.1	37.0	39.1	18.2	0.2	0.4
60～69歳	622	4.2	36.7	35.4	22.0	1.6	0.2
70歳以上	576	7.1	37.5	33.9	18.9	2.4	0.2
〔従業上の地位〕							
雇用者	2,906	5.3	41.1	38.6	14.7	0.2	0.2
自営業主	612	6.4	37.7	37.9	16.7	1.0	0.3
家族従事者	151	4.0	52.3	29.8	12.6	1.3	-
無職	2,170	7.7	36.8	32.8	19.4	2.0	1.3
主婦	1,251	8.9	40.3	32.1	16.6	1.3	0.8
主夫	71	7.0	29.6	39.4	22.5	1.4	-
その他の無職	848	6.0	32.3	33.3	23.2	3.1	2.1
〔職業〕							
管理・専門技術・事務職	1,571	6.7	47.4	34.8	10.6	0.2	0.3
管理職	181	9.9	59.7	23.2	6.1	-	1.1
専門・技術職	636	7.4	44.0	37.7	10.4	0.3	0.2
事務職	754	5.3	47.3	35.1	11.9	0.1	0.1
販売・サービス・保安職	1,066	4.1	36.2	39.8	19.3	0.6	-
農林漁業職	132	6.1	44.7	37.1	9.8	1.5	0.8
生産・輸送・建設・労務職	900	4.6	34.9	42.2	17.9	0.2	0.2

③ 時間的なゆとり感

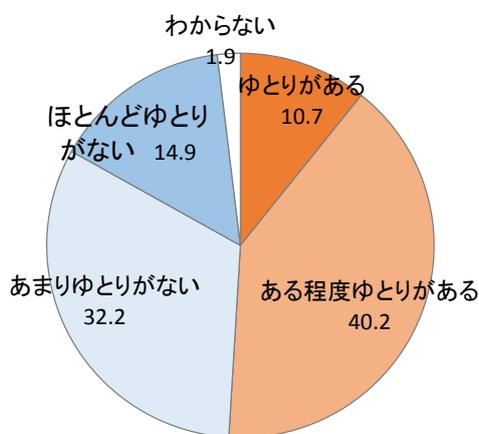
Q.14 あなたは、日ごろの生活の中で、休んだり、好きなことをしたりする時間のゆとりがありますか。それとも、仕事や家事、学業などに精一杯で、時間のゆとりがありませんか。

時間的なゆとり感については、「ゆとりがある」と「ある程度ゆとりがある」が計50.9%、「あまりゆとりがない」と「ほとんどゆとりがない」が計47.1%と、“ゆとりがある”が“ゆとりがない”を若干上回っている。

属性別にみると、年齢が高いほど、年収が高いほど、同居状況では「一人暮らし」のほうが、時間的に“ゆとりがない”との回答の比率が高い。就業形態別には、「契約・嘱託」の約6割が、“ゆとりがない”と感じている。

◆Q.14 時間的なゆとり感 (SA)

n=261
(単位：%)



上段：人 下段：%	合計	Q.14 時間的なゆとり感 (SA)					
		ゆとりがある	ある程度 ゆとりがある	あまり ゆとりがない	まったく ゆとりがない	どちらとも いえない	
全体	261 100.0	28 10.7	105 40.2	84 32.2	39 14.9	5 1.9	
年齢	35～39歳	88 100.0	8 9.1	40 45.5	26 29.5	10 11.4	4 4.5
	40～44歳	79 100.0	12 15.2	31 39.2	26 32.9	10 12.7	0 0.0
	45～54歳	94 100.0	8 8.5	34 36.2	32 34.0	19 20.2	1 1.1
最終学歴	中卒・高卒・ 高卒相当	39 100.0	8 20.5	12 30.8	11 28.2	7 17.9	1 2.6
	短大・ 専門学校卒	83 100.0	8 9.6	33 39.8	24 28.9	16 19.3	2 2.4
	大学・ 大学院卒	139 100.0	12 8.6	60 43.2	49 35.3	16 11.5	2 1.4
同居状況	同居者あり	136 100.0	15 11.0	62 45.6	42 30.9	15 11.0	2 1.5
	一人暮らし	125 100.0	13 10.4	43 34.4	42 33.6	24 19.2	3 2.4
自身の 税込年 取	150万円未満	74 100.0	13 17.6	25 33.8	20 27.0	14 18.9	2 2.7
	150万円以上 250万円未満	104 100.0	5 4.8	51 49.0	35 33.7	10 9.6	3 2.9
	250万円以上	83 100.0	10 12.0	29 34.9	29 34.9	15 18.1	0 0.0
就業 形態	契約・嘱託	75 100.0	3 4.0	27 36.0	31 41.3	13 17.3	1 1.3
	派遣社員	61 100.0	8 13.1	26 42.6	18 29.5	7 11.5	2 3.3
	パート・ アルバイト	53 100.0	7 13.2	24 45.3	16 30.2	4 7.5	2 3.8
	非常勤	27 100.0	5 18.5	8 29.6	7 25.9	7 25.9	0 0.0
	業務請負等	37 100.0	5 13.5	15 40.5	11 29.7	6 16.2	0 0.0

「国民生活に関する世論調査」（2015年6月調査）の結果をみると、30～49歳の男女は、他の年代に比べて時間的に“ゆとりがない”と感じている人の比率が高くなっており、本調査の結果と大きな差はみられない。

【参考】内閣府「国民生活に関する世論調査」（2015年6月調査）より（その3）

◆時間的なゆとり感(SA)

整数：人 小数：%	該当者数	かなり ゆとりがある	ある程度 ゆとりがある	あまり ゆとりがない	ほとんどゆとり がない	わからない
総数	5,839	18.9	47.7	24.5	8.8	0.1
(女性)	3,125	19.5	47.7	23.8	9.0	0.1
20～29歳	232	13.4	51.3	30.6	4.7	-
30～39歳	412	7.8	42.5	33.3	16.3	0.2
40～49歳	569	7.7	46.0	33.2	13.0	-
50～59歳	543	13.3	48.1	26.9	11.6	0.2
60～69歳	659	22.9	52.4	18.7	6.1	-
70歳以上	710	39.3	46.3	10.8	3.5	-
(男性)	2,714	18.2	47.6	25.4	8.6	0.2
20～29歳	221	16.3	56.6	20.8	5.9	0.5
30～39歳	334	7.8	42.8	35.9	13.5	-
40～49歳	488	5.9	43.9	36.7	13.1	0.4
50～59歳	473	7.4	47.8	35.1	9.7	-
60～69歳	622	22.7	53.2	16.7	7.4	-
70歳以上	576	39.6	43.9	12.8	3.3	0.3
〔従業上の地位〕						
雇用者	2,906	7.6	48.1	33.4	10.7	0.1
自営業主	612	13.2	47.7	26.3	12.7	-
家族従事者	151	13.2	47.7	28.5	10.6	-
無職	2,170	36.0	47.1	11.8	5.0	0.1
主婦	1,251	31.8	49.2	13.5	5.5	-
主夫	71	39.4	46.5	7.0	7.0	-
その他の無職	848	42.0	44.0	9.7	4.0	0.4
〔職業〕						
管理・専門技術・事務職	1,571	7.3	47.4	34.7	10.5	0.1
管理職	181	8.3	49.2	30.9	11.0	0.6
専門・技術職	636	6.1	47.3	35.1	11.3	0.2
事務職	754	8.1	46.9	35.3	9.7	-
販売・サービス・保安職	1,066	9.6	48.6	29.3	12.4	0.2
農林漁業職	132	13.6	47.7	30.3	8.3	-
生産・輸送・建設・労務職	900	9.7	48.6	31.0	10.8	-

④ 充実感を感じる時

Q.15 日ごろの生活の中で、充実感を感じるのは、主にどのようなときですか。
以下からあてはまるものを、いくつでもお答えください。

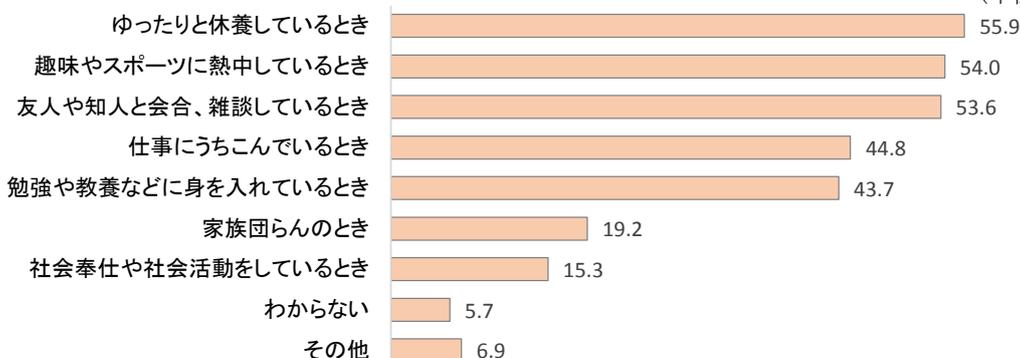
生活の中で充実感を感じる時としては、「ゆったりと休養しているとき」、「趣味やスポーツに熱中しているとき」、「友人や知人と会合、雑談しているとき」が各5割を超え、次いで「仕事にうちこんでいるとき」、「勉強や教養などに身を入れているとき」が各4割を超えている（全回答者の平均選択数2.99項目）。

属性別にみると、就業形態では「業務請負等」の7割弱、年齢では「45～54歳」の5割半が、「仕事にうちこんでいるとき」をあげている。

「その他」には、ペットと過ごすときが3件、教会にいるとき、家族から離れているとき、などがあげられた。

◆Q.15 充実感を感じる時 (MA) 【値の高い順】

n=261
(単位：%)



上段：人 下段：%	合計	Q.15 充実感を感じる時 (MA)									
		仕事にうち こんでいる とき	勉強や教養 などに身を 入れている とき	趣味やス ポーツに熱 中している とき	ゆったりと 休養してい る とき	家族団らん のとき	友人や知人 と会合、雑 談している とき	社会奉仕や 社会活動を している とき	わからない	その他	
全体	261 100.0	117 44.8	114 43.7	141 54.0	146 55.9	50 19.2	140 53.6	40 15.3	15 5.7	18 6.9	
年齢	35～39歳	88 100.0	35 39.8	35 39.8	52 59.1	50 56.8	15 17.0	47 53.4	10 11.4	7 8.0	5 5.7
	40～44歳	79 100.0	30 38.0	39 49.4	51 64.6	50 63.3	15 19.0	45 57.0	11 13.9	3 3.8	5 6.3
	45～54歳	94 100.0	52 55.3	40 42.6	38 40.4	46 48.9	20 21.3	48 51.1	19 20.2	5 5.3	8 8.5
最終学 歴	中卒・高卒・ 高卒相当	39 100.0	16 41.0	20 51.3	25 64.1	25 64.1	7 17.9	19 48.7	6 15.4	2 5.1	2 5.1
	短大・ 専門学校卒	83 100.0	35 42.2	33 39.8	46 55.4	40 48.2	11 13.3	46 55.4	10 12.0	2 2.4	8 9.6
	大学・ 大学院卒	139 100.0	66 47.5	61 43.9	70 50.4	81 58.3	32 23.0	75 54.0	24 17.3	11 7.9	8 5.8
同居状 況	同居者あり	136 100.0	56 41.2	52 38.2	74 54.4	73 53.7	38 27.9	67 49.3	19 14.0	10 7.4	11 8.1
	一人暮らし	125 100.0	61 48.8	62 49.6	67 53.6	73 58.4	12 9.6	73 58.4	21 16.8	5 4.0	7 5.6
自身 の税 込年 収	150万円未満	74 100.0	26 35.1	29 39.2	32 43.2	36 48.6	14 18.9	36 48.6	17 23.0	6 8.1	9 12.2
	150万円以上 250万円未満	104 100.0	49 47.1	51 49.0	62 59.6	61 58.7	24 23.1	57 54.8	13 12.5	6 5.8	3 2.9
	250万円以上	83 100.0	42 50.6	34 41.0	47 56.6	49 59.0	12 14.5	47 56.6	10 12.0	3 3.6	6 7.2
就業 形態	契約・嘱託	75 100.0	33 44.0	33 44.0	42 56.0	45 60.0	20 26.7	41 54.7	16 21.3	2 2.7	5 6.7
	派遣社員	61 100.0	23 37.7	23 37.7	39 63.9	37 60.7	10 16.4	29 47.5	3 4.9	5 8.2	4 6.6
	パート・ アルバイト	53 100.0	22 41.5	25 47.2	29 54.7	31 58.5	8 15.1	29 54.7	11 20.8	6 11.3	4 7.5
	非常勤	27 100.0	12 44.4	14 51.9	14 51.9	14 51.9	6 22.2	14 51.9	6 22.2	0 0.0	0 0.0
	業務請負等	37 100.0	25 67.6	14 37.8	12 32.4	16 43.2	2 5.4	23 62.2	4 10.8	2 5.4	3 8.1

「国民生活に関する世論調査」(2015年6月調査)の結果をみると、30～39歳女性の約8割、40～49歳女性の約7割が「家族団らんの時」をあげている。しかし、本調査でこれをあげた人は2割弱にとどまっており、これに代わって「ゆったり休養している時」が、世論調査にみる同世代平均より若干高くなっている。

「仕事にうちこんでいる時」の選択率が高い層をみると、世論調査においては、自営業者・農林漁業職でそれぞれ6割、年齢・性別には50～59歳男性の4割強がこれをあげている。本調査では、回答者全体の4割半(就業形態別には「業務請負等」の7割弱、年齢別には「45～54歳」の5割半)がこれをあげており、非正規職シングル女性が、同世代の男女と比べて仕事に重きを置く傾向にあることがみてとれる。

【参考】内閣府「国民生活に関する世論調査」(2015年6月調査)より(その4)

◆充実感を感じる時(MA)

生活の充実感で「十分充実感を感じている」、「まあ充実感を感じている」、「あまり充実感を感じていない」、「どちらともいえない」と答えた人について

整数:人 小数:%	該当者数	仕事にうち こんでいる 時	勉強や教養 などに身を入 れている時	趣味やス ポーツに熱 中している時	ゆったりと休 養している時	家族団らん の時	友人や知人 と会合、雑 談している時	社会奉仕や 社会活動をして いる時	わからない	その他
総数	5,518	32.2	13.6	42.0	45.0	52.0	45.9	9.6	1.3	0.4
(女性)	2,959	29.3	13.1	37.0	48.0	56.3	55.1	8.7	1.4	0.4
20～29歳	225	24.4	15.6	44.9	57.3	57.8	66.7	2.2	0.4	0.4
30～39歳	406	30.3	10.8	36.2	52.5	76.4	58.9	3.9	0.2	-
40～49歳	547	40.2	11.2	33.3	52.8	69.5	52.1	8.2	1.1	-
50～59歳	518	37.3	13.9	33.6	53.1	59.5	56.4	10.4	0.8	0.2
60～69歳	629	26.2	16.7	39.6	43.1	48.0	52.8	11.1	1.1	0.2
70歳以上	634	17.5	11.4	38.3	38.5	37.2	52.4	10.6	3.6	1.6
(男性)	2,559	35.6	14.1	47.8	41.6	47.0	35.2	10.6	1.2	0.3
20～29歳	214	31.8	18.2	65.4	44.9	35.5	58.9	5.6	0.5	-
30～39歳	325	41.5	15.7	50.2	40.3	63.1	36.0	5.5	-	0.3
40～49歳	470	41.9	11.3	45.3	48.7	57.4	30.0	7.7	1.1	-
50～59歳	456	42.8	13.4	49.8	45.2	52.2	26.5	9.9	0.4	-
60～69歳	585	33.5	14.2	47.4	37.3	41.9	34.9	13.3	1.9	0.5
70歳以上	509	23.4	14.3	39.9	36.1	33.4	37.7	16.1	2.2	0.6
〔従業上の地位〕										
雇用者	2,817	44.0	12.6	42.4	49.1	55.9	45.3	7.4	0.6	0.1
自営業主	584	57.0	16.6	41.8	33.2	44.2	39.0	14.0	1.5	0.3
家族従事者	144	36.8	12.5	37.5	39.6	61.8	44.4	13.9	0.7	-
無職	1,973	7.7	14.1	42.0	43.2	48.1	48.8	11.0	2.3	0.8
主婦	1,166	7.7	12.7	38.8	45.8	55.8	55.3	10.3	1.9	0.8
主夫	61	3.3	13.1	47.5	34.4	26.2	32.8	13.1	6.6	-
その他の無職	746	7.9	16.5	46.5	39.8	37.8	39.9	11.9	2.7	0.8
〔職業〕										
管理・専門技術・事務職	1,540	48.5	17.2	46.2	47.5	57.3	44.7	9.7	0.5	0.1
管理職	181	54.1	17.1	48.1	42.0	64.6	34.3	13.8	-	-
専門・技術職	627	55.5	20.4	44.5	48.3	55.7	42.6	10.5	0.8	0.2
事務職	732	41.1	14.5	47.3	48.2	57.0	49.2	7.9	0.3	0.1
販売・サービス・保安職	1,031	45.1	13.6	37.4	45.8	55.2	47.3	9.1	1.3	0.2
農林漁業職	122	61.5	9.0	27.9	27.9	46.7	41.8	13.9	1.6	0.8
生産・輸送・建設・労務職	852	39.8	6.3	42.1	46.4	48.4	39.9	6.0	0.5	-

(3) 悩みや不安

① 悩みや不安

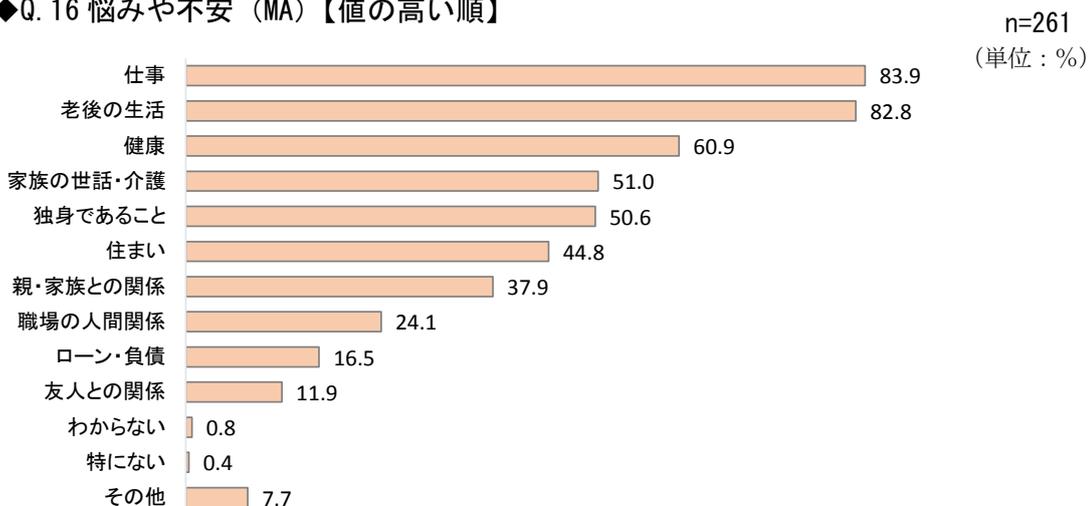
Q.16 現在、あなたが感じている悩みや不安はどのようなことについてですか。いくつでもあげてください。

現在の悩みや不安については、多数の項目があげられた(全回答者の平均選択数 4.73 項目)。うち、「仕事」、「老後の生活」を 8 割以上が、「健康」を約 6 割があげ、「家族の世話・介護」、「独身であること」を約 5 割があげた。

属性別にみると、「仕事」をあげた人の比率は「派遣社員」、「大学・大学院卒」、「一人暮らし」でとくに高く、「老後の生活」は、40 歳以上でとくに高くなっている。また、年収「150 万円未満」、「パート・アルバイト」では、「健康」をあげた人が各 7 割前後みられる。「家族の世話・介護」は 40 歳以上で過半数を超え、一方「35~39 歳」では 6 割が「独身であること」をあげている。

「その他」には、同性パートナーとの生活の法的保障、同性愛者である生きづらさ、出産ラストチャンス、奨学金の返済、今の政権、などがあげられた。

◆Q.16 悩みや不安 (MA) 【値の高い順】



第2章 ウェブアンケート調査の結果

上段：人 下段：%	合計	Q.16 悩みや不安 (MA)													
		健康	住まい	仕事	独身で あること	老後の 生活	親・家族 との関係	職場の 人間関係	友人 との関係	家族の 世話・介 護	ローン・ 負債	特にな い	わから ない	その他	
全体	261 100.0	159 60.9	117 44.8	219 83.9	132 50.6	216 82.8	99 37.9	63 24.1	31 11.9	133 51.0	43 16.5	1 0.4	2 0.8	20 7.7	
年齢	35～39歳	88 100.0	55 62.5	39 44.3	74 84.1	54 61.4	61 69.3	39 44.3	24 27.3	12 13.6	40 45.5	11 12.5	1 1.1	1 1.1	9 10.2
	40～44歳	79 100.0	43 54.4	36 45.6	65 82.3	38 48.1	71 89.9	27 34.2	19 24.1	8 10.1	42 53.2	17 21.5	0 0.0	0 0.0	8 10.1
	45～54歳	94 100.0	61 64.9	42 44.7	80 85.1	40 42.6	84 89.4	33 35.1	20 21.3	11 11.7	51 54.3	15 16.0	0 0.0	1 1.1	3 3.2
最終学歴	中卒・高卒・ 高卒相当	39 100.0	26 66.7	27 69.2	33 84.6	23 59.0	31 79.5	15 38.5	7 17.9	5 12.8	19 48.7	10 25.6	0 0.0	1 2.6	5 12.8
	短大・ 専門学校卒	83 100.0	49 59.0	34 41.0	64 77.1	35 42.2	70 84.3	30 36.1	15 18.1	9 10.8	35 42.2	10 12.0	1 1.2	1 1.2	3 3.6
	大学・ 大学院卒	139 100.0	84 60.4	56 40.3	122 87.8	74 53.2	115 82.7	54 38.8	41 29.5	17 12.2	79 56.8	23 16.5	0 0.0	0 0.0	12 8.6
	同居状況	同居者あり	136 100.0	78 57.4	52 38.2	110 80.9	72 52.9	113 83.1	56 41.2	38 27.9	17 12.5	77 56.6	21 15.4	0 0.0	2 1.5
	一人暮らし	125 100.0	81 64.8	65 52.0	109 87.2	60 48.0	103 82.4	43 34.4	25 20.0	14 11.2	56 44.8	22 17.6	1 0.8	0 0.0	8 6.4
自身の 税込年 収	150万円未満	74 100.0	50 67.6	34 45.9	60 81.1	39 52.7	60 81.1	30 40.5	18 24.3	16 21.6	38 51.4	11 14.9	0 0.0	2 2.7	6 8.1
	150万円以上 250万円未満	104 100.0	69 66.3	48 46.2	90 86.5	56 53.8	88 84.6	45 43.3	32 30.8	12 11.5	55 52.9	16 15.4	0 0.0	0 0.0	13 12.5
	250万円以上	83 100.0	40 48.2	35 42.2	69 83.1	37 44.6	68 81.9	24 28.9	13 15.7	3 3.6	40 48.2	16 19.3	1 1.2	0 0.0	1 1.2
	就業形態	契約・嘱託	75 100.0	43 57.3	30 40.0	62 82.7	39 52.0	63 84.0	28 37.3	23 30.7	7 9.3	36 48.0	9 12.0	0 0.0	0 0.0
	派遣社員	61 100.0	33 54.1	31 50.8	55 90.2	30 49.2	49 80.3	21 34.4	12 19.7	7 11.5	32 52.5	8 13.1	0 0.0	0 0.0	6 9.8
	パート・ アルバイト	53 100.0	39 73.6	21 39.6	45 84.9	28 52.8	45 84.9	25 47.2	22 41.5	13 24.5	27 50.9	13 24.5	0 0.0	1 1.9	4 7.5
	非常勤	27 100.0	14 51.9	13 48.1	20 74.1	8 29.6	21 77.8	11 40.7	3 11.1	1 3.7	16 59.3	3 11.1	1 3.7	0 0.0	2 7.4
	業務請負等	37 100.0	25 67.6	18 48.6	30 81.1	20 54.1	31 83.8	11 29.7	2 5.4	1 2.7	17 45.9	10 27.0	0 0.0	1 2.7	4 10.8

② 悩みや不安の内容

Q.17 Q.16 でチェックを入れた中で、もっとも悩んだり、不安に感じていることはどのようなことですか。よろしければ具体的にお書きください。(400 字以内)

この設問に対しては、209 人 (261 人中の 80.1%) が何らかの内容を記述した。

以下は、複数みられた記述を中心に抜粋し、大まかに区分して年齢順に並べたものである。

《現在の仕事や生計の悩み・不安について》-----

「雇用継続」「低賃金」「借金」「医療費出せず」「仕事量多い」など

- 職業柄非正規職の募集ばかりで、雇用の継続性はいつも不安。自分だけでなく同僚も同じ状況なので、せっかく仲良くなってもいつまで一緒に働けるかと不安。(38 歳)
- 派遣を転々としたり、スポットのバイトをし、借金をして何とか生きている。学歴もないのでまっとうな仕事にもつけない、派遣先で社員よりも働いても給料は安い。意見も聞いてもらえない。仕事が社員よりできても学歴がない人間は正規雇用されない。そして増えゆく借金。もうどうしたらいいかわからない。(39 歳)
- 現在、社会で働くことは身の危険をはらんでいることだと感じてしまう会社の雰囲気。孤独感。社内でのやりとりに疲弊。(40 歳)
- 昼間は派遣、夜と週末は在宅の仕事とダブルワーク。派遣法改正で今の仕事は今後 3 年しか続けることができなくなった。3 年後の主収入確保が今から心配。副業があるので原則副業禁止の正社員になるのは難しい。両親に介護が必要になったり、自分が病気になったらとたんに生活が破綻する。(40 歳)
- 派遣から契約社員になっていたが、2013 年の労働契約法改正により 5 年後に正社員雇用したくない会社側から契約満了で切られた。年齢的にまた非正規職か。(40 歳)
- 女性ばかりの職場で、かつ給料が安い。休日は疲れ切ってひきこもり、出会いもまったくくない。せめて給料が上がってほしい。(41 歳)
- 派遣雇用で収入が安定せず、貯金をしても税金や家賃、部屋を借りるための前借り金返済等で全くゆとりがない。体調を崩したら医療費も出せず、生活が立ち行かなくなる不安。郊外の安い賃貸に引っ越しても、派遣社員は給与に交通費が含まれるのでプラスマイナスゼロになってしまう。仕方なく都内に暮らしている。(42 歳)
- 長い間借金をしている。債務整理をされていて払い続けているが、病気で実家に戻り、復職したものの体力的につらく、パートに転職、かけもちしている。自立したいが、貯金どころか健康保険も払っていない。(44 歳)
- 将来への不安を軽減するために資格を取得したいが、正社員と同じ仕事内容で仕事量が多く、日々の生活で手一杯。金銭面の不安があり、一人暮らしもできない。(44 歳)
- 今後の職探しに役立ちそうな資格の勉強をしたいと思っても、学ぶためのお金がない。結婚歴なしのパートタイマー。同じ会社で 15 年働き、時給が上がるのは地域の最低賃金が上がったときだけ。最低賃金ぎりぎりの給料で、本業だけでは生活が成り立たず、週 1 回は(日雇い)派遣の仕事をしているが、現在は派遣法により(生たる業務の収入が)年 500 万円に満たない場合、仕事が限られている。年収が足りないから副業ができないのはおかしいと思う。(48 歳)

- 障害者雇用でパートで働いている。時給は最低賃金で障害年金もいただいているが、生活は苦しい。薬の副作用があり、疲れやすく、短時間しか働けず。契約更新してもらえるか、毎年不安。親が死んだらどうしようと毎日くよくよ考える。(48歳)
- 現在の職場で3年前にしたケガが完治せず、日常生活に支障をきたしている。転職も考えたが、現在のパートをどうにか継続。仕事内容が変化し、販売から営業的なこともさせられ、苦痛。周りも50~60歳代で転職もできず、みんながんばっているが、ストレスで雰囲気も悪化。父母の年齢もあり、別のパートを併用するか、仕事自体を変えなければと夜も眠れずとても憂鬱。(50歳)
- 親の介護をしていて貯金を使い果たしたため不安。(54歳)

《将来の不安について》-----

「親なき後の生計」「親の介護」「体調不良と生活困窮」「孤独」など

- 退職金もなくボーナスもない。将来生きていくのであれば生活保護しかないと思う。安楽死施設を開設してほしい。(35歳)
- 高齢出産の年齢に入り、パートナー不在の老後を想像すると、自分の健康や仕事に何かあった際、一人で解決していけるか不安。(35歳)
- 非正規職のまま、家族がいなくなったら一人で生計を立てていけるのか。しかし、正社員になって、徹夜などの長時間労働や複雑な人間関係に耐えられる自信がない。(36歳)
- 親が離婚しているので、からだが弱くて一人暮らしの母親の将来的な介護。(40歳)
- 両親に軽いボケが時々見られ、一緒に暮らしていてイライラする。自分のことだけでも悩みが尽きないのに、両親の面倒をこの先見ることになるかと思うと未来が暗い。しかし、実家に暮らし、世話になっている分、親の介護は必須。(41歳)
- いつまで働けるのかわからないし、元気なうちに死にたいといつも思っている。ペットがいるので、できれば在宅中に大地震がきて、一緒に死ねたら。あと5年も生きられればいい。(42歳)
- 両親サポートのため東京を離れることになり、派遣を離職。交通費不支給のため、地方からの通勤は無理。自分も婦人科手術のため、しばらく働けず。現在無収入で親の年金と貯金で生活。きょうだいも親戚づきあいもなく、両親が亡くなったら不安のみ。(43歳)
- 母子家庭で育ち、現在母との二人暮らし。20代は正社員だったがリストラされ、その後派遣、アルバイト、直近は1年更新の契約社員で現在求職中。ずっと非正規職で貯金もなく、求人も非正規職ばかりで求職活動も厳しい。(44歳)
- カードの返済が80万ほどあり、貯蓄ゼロである。親が地方へ移住すると言い出したが、ついていっても仕事がなくなる。かといって一人暮らしもできない。ホームレスは困ると思いつつ、そうなるのかと思うことがある。(44歳)
- パート職で体調を崩し、週2-3日しか働けない。生活は困窮。資格取得をめざして勉強中だが、一人で老後まで生活をしていけるのか。(44歳)
- 老後、介護が必要なからだに(自分が)なったらと考えると不安。年金だけでは施設に入るこ

第2章 ウェブアンケート調査の結果

とも不可能。自分はきっと孤独死するだろう。(44歳)

- 健康に不安があるため、仕事を失う→仕事につけない→両親の介護がのしかかってくる→老後の生活不安、という負のスパイラルに陥るのではないかと悩んでいる。(47歳)
- 現在両親の介護中で私自身もがんサバイバー。亡き夫の闘病中の負債や分譲マンションのローン等に困窮し、両親の年金、きょうだいの援助で生活している。両親亡き後は即貧困になると覚悟。その時のために今から夜間に在宅仕事をとると思うが、そこまでの余裕がない。(49歳)
- 長く派遣社員などで働いてきた。30代前半で体調を崩し結婚も子どもも望めない。派遣も満了し、半年職業訓練に通ったが仕事がなかなか見つからず。年金は期間免除。社会保険料や税はとても払えない。母が亡くなれば私も死ぬしかない。(49歳)
- 母親が認知症初期で遠い他県で一人暮らし。長年離れて暮らしてきたし、昔の確執もあるので、しかるべき時には施設に入ってほしいが、スムーズに移行できるか不安。(50歳)
- 親の死後、孤独になること。公務員だった母の年金収入が途絶えることによる生活の不安。(51歳)
- 親が介護施設に入居している。親自身の年金全額でも足らずきょうだい費用を分担しているが、非正規職のかけもちで収入も少なく、貯金を切り崩しながらの(介護費)負担。他のきょうだいも家庭の事情がある。いずれ貯金も使い果たすのも見えている中、唯一独り身の自分の老後を考えると、国民年金だけで生活できるのか不安。(53歳)

《家族・結婚・住まいの悩みや不安について》-----

- 結婚できるのか。できたとしても出産できないのでは。(専門職の)仕事が毎年替わっているので、今後も仕事ができるか不安。経験をどう積み上げていくか明確でない。(37歳)
- URの賃貸住宅に住んでいて環境も気に入っているが、団地の統廃合で住めなくなることが予想され、不安だ。(38歳)
- 家族がほしいが、付き合える異性に出会えない。親が死んだらきょうだいもないので天涯孤独になるのがつらい。性別年齢問わず、家族という共同体がほしい。パートナーシップ制度を発展させ、心や考え方が近い人間と家族になれたり、パートナーたちと虐待を受けたり安全な場所がない子どもたちへの支援(ともに暮らしたり、食事や多少の学費援助など)ができるシステムがあればと願う。(39歳)
- 病気、ローンをかかえている自分が結婚できるのか。(40歳)
- 同性パートナーとの法的保障がないので、老後の生活に不安がある。(41歳)
- UR賃貸でも独身者が借りられる物件が少なく、差別を感じる。(42歳)
- 安アパートなので隣近所に筒抜けでプライバシーが乏しい。引越すにも賃貸だと保証人や収入審査が厳しくてなかなかできない。(43歳)
- 婚活もしているがなかなかうまくいかず、自分が生きていくことができるのか見通しが立たず、近い将来すら大変不安。未来のことなど恐ろしくて考えられない。(48歳)

《自分の健康や生きづらさなどについて》-----

- 派遣で働いた工場内で着用義務だった手袋でアレルギーを起し転職。今は大きな物流倉庫の中を一日中歩き続けるので体力の消耗が激しい。(35歳)
- 摂食障害をかかえながら働いており、いつまでもつのか考えるときがある。(35歳)
- 一番不安なのは健康問題。一人でいることそのものに不満はほとんどなく、家賃が安いのでどうにかなってきたが、自分が倒れることを考えると不安。仕事につくとしても、健康さえどうにかなれば不安感はもっと軽減されただろう。そして、健康の問題には仕事の働き過ぎの問題や、人間関係が深く関わっている。(42歳)
- すべてがつながっている。たとえば、仕事がうまくいっていないと収入も減り、健康状態が思わしくなくなり、将来への不安でいっぱいになる。そういうときはひきこもりがちになり、さらなる悪循環になる。(42歳)
- もともと丈夫でなく、更年期の症状なども加わってきて健康状態が不安。健康であれば、稼いだり、親の介護などもできると思えるが、自分が健康でないとその気持ち自体が萎えてしまう。(47歳)
- 持病があり、経済困窮。仕事はきつく、休日は寝ていることが多い。職場では人間関係が希薄で能力主義のため、いつも気を張っている。精一杯努力してこんな生活か。(47歳)
- 健康を害したが、難病指定もなく、自費なので厳しい。環境に配慮してくれる職場もないので、どうしていいかわからない(49歳)
- 家族と自分の健康が一番気がかり。家族、自分のどちらが倒れても今の生活が成り立たなくなる。非正規職のため、病気になっても休職することができず不安。(50歳)
- 事情があってやりがいのある仕事を離れた後、非正規職で働いており、本当の自分の居場所がないと感じ、この歳になって自分探しをしている状態が不安。(51歳)

《その他 社会の対応・視線などについて》-----

- 年齢も上がっているのに独身、子どもなしだと非国民と思われる。国も生まないのが問題という。人として生きる価値なし。うわべだけは世の中は変わったとか、欧米に倣ってと言っても、結局、独身、子どもなし、職歴なしだと変な目で見られる。(37歳)
- 体調不良で救急搬送された際、付き添いがないことを理由に受け入れを断る病院が多かった。病気になっても頼れる家族がいない。独身女性は病院にも嫌がられる。財力がなく、お金で解決できないのはつらい。(42歳)

第2章 ウェブアンケート調査の結果

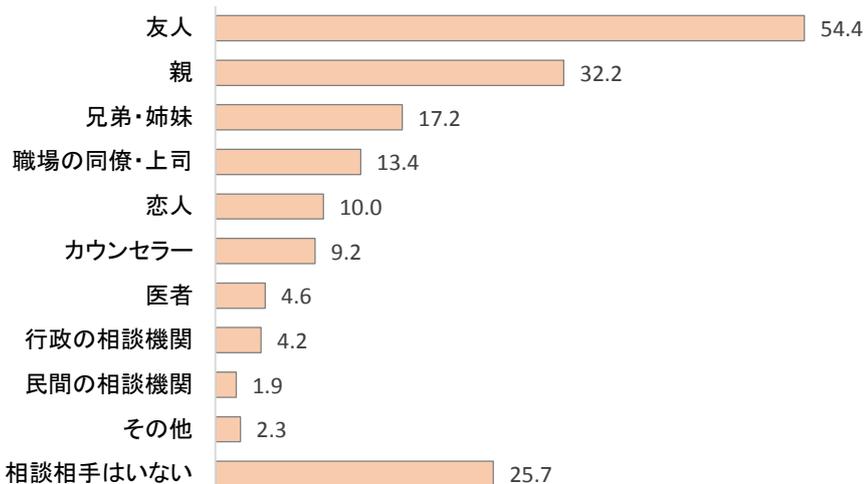
③ 主な相談先

Q.18 あなたは悩みや不安があるとき、主に誰に相談していますか。3つまでお答えください。

悩みや不安の相談先としては、「友人」が54.4%と多く、「親」が32.2%でこれに次いでいる。「相談相手はいない」も25.7%みられ、とくに「派遣社員」では4割弱がこれをあげている（全回答者の平均選択数1.78項目）。

◆Q.18 主な相談先 (MA) 【値の高い順】

n=261
(単位：%)



上段：人 下段：%	合計	Q.18 主な相談先 (MA)												
		親	兄弟・ 姉妹	親族	恋人	友人	職場の同 僚・上司	カウンセ ラー	医者	民間の 相談機関	行政の 相談機関	相談相手 はいない	その他	
全体	261 100.0	84 32.2	45 17.2	7 2.7	26 10.0	142 54.4	35 13.4	24 9.2	12 4.6	5 1.9	11 4.2	67 25.7	6 2.3	
年齢	35～39歳	88 100.0	34 38.6	12 13.6	0 0.0	5 5.7	47 53.4	15 17.0	7 8.0	5 5.7	3 3.4	3 3.4	22 25.0	2 2.3
	40～44歳	79 100.0	26 32.9	18 22.8	2 2.5	11 13.9	43 54.4	13 16.5	3 3.8	4 5.1	0 0.0	2 2.5	19 24.1	1 1.3
	45～54歳	94 100.0	24 25.5	15 16.0	5 5.3	10 10.6	52 55.3	7 7.4	14 14.9	3 3.2	2 2.1	6 6.4	26 27.7	3 3.2
最終学歴	中卒・高卒・ 高卒相当	39 100.0	9 23.1	8 20.5	0 0.0	4 10.3	19 48.7	6 15.4	2 5.1	2 5.1	1 2.6	1 2.6	10 25.6	0 0.0
	短大・ 専門学校卒	83 100.0	26 31.3	13 15.7	2 2.4	7 8.4	49 59.0	10 12.0	9 10.8	2 2.4	1 1.2	4 4.8	22 26.5	4 4.8
	大学・ 大学院卒	139 100.0	49 35.3	24 17.3	5 3.6	15 10.8	74 53.2	19 13.7	13 9.4	8 5.8	3 2.2	6 4.3	35 25.2	2 1.4
同居状況	同居者あり	136 100.0	45 33.1	23 16.9	3 2.2	15 11.0	68 50.0	11 8.1	13 9.6	7 5.1	3 2.2	4 2.9	39 28.7	2 1.5
	一人暮らし	125 100.0	39 31.2	22 17.6	4 3.2	11 8.8	74 59.2	24 19.2	11 8.8	5 4.0	2 1.6	7 5.6	28 22.4	4 3.2
自身の税込年収	150万円未満	74 100.0	24 32.4	12 16.2	5 6.8	6 8.1	45 60.8	11 14.9	9 12.2	6 8.1	1 1.4	5 6.8	17 23.0	2 2.7
	150万円以上 250万円未満	104 100.0	39 37.5	26 25.0	2 1.9	8 7.7	48 46.2	14 13.5	11 10.6	5 4.8	2 1.9	5 4.8	26 25.0	2 1.9
	250万円以上	83 100.0	21 25.3	7 8.4	0 0.0	12 14.5	49 59.0	10 12.0	4 4.8	1 1.2	2 2.4	1 1.2	28 28.9	2 2.4
就業形態	契約・嘱託	75 100.0	25 33.3	14 18.7	2 2.7	9 12.0	47 62.7	14 18.7	5 6.7	1 1.3	1 1.3	1 1.3	15 20.0	3 4.0
	派遣社員	61 100.0	18 29.5	10 16.4	1 1.6	6 9.8	28 45.9	9 14.8	2 3.3	3 4.9	2 3.3	2 3.3	23 37.7	2 3.3
	パート・ アルバイト	53 100.0	23 43.4	10 18.9	2 3.8	5 9.4	26 49.1	7 13.2	11 20.8	3 5.7	2 3.8	4 7.5	11 20.8	0 0.0
	非常勤	27 100.0	5 18.5	4 14.8	1 3.7	2 7.4	17 63.0	3 11.1	2 7.4	2 3.7	1 0.0	0 3.7	5 18.5	0 0.0
	業務請負等	37 100.0	12 32.4	6 16.2	1 2.7	3 8.1	21 56.8	2 5.4	2 5.4	2 5.4	0 0.0	1 2.7	11 29.7	0 0.0

3 仕事について

(1) 初職

① 初職の就業形態

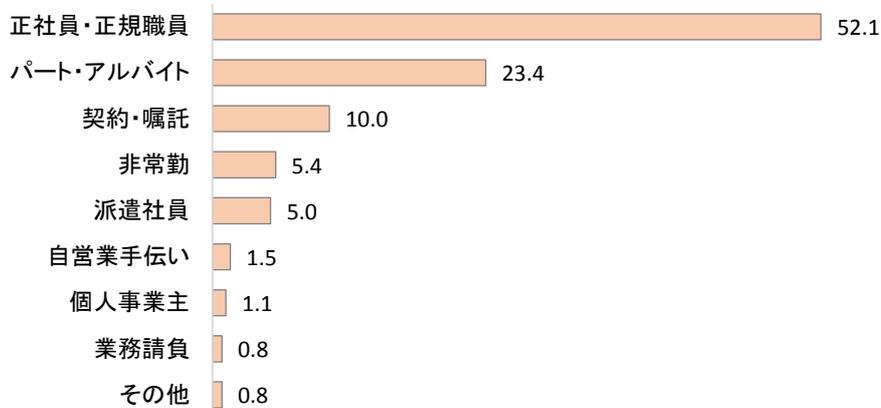
Q.19 学校を卒業(中退)したあと最初についた仕事の就業形態は、以下のどれにあてはまりますか。

学校卒業後についた初職の就業形態は、正規職（正社員・正規職員）が52.1%と半数強みられるものの、非正規職（正社員・正規職員以外の雇用や請負等）も半数近くにはのびている。

とくに、「35～39歳」（約6割が大学卒業以上）は、約7割が初職から非正規職についている。就業形態としては「パート・アルバイト」が3割と最も多く、正規職を上回っている。

◆Q.19 初職の就業形態（SA）【値の高い順】

n=261
(単位：%)



上段：人 下段：%	合計	Q.19 初職の就業形態 (SA)								
		正社員・ 正規職員	契約・嘱託	派遣社員	パート・ アルバイト	非常勤	自営業 手伝い	業務請負	個人 事業主	その他
全体	261 100.0	136 52.1	26 10.0	13 5.0	61 23.4	14 5.4	4 1.5	2 0.8	3 1.1	2 0.8
年齢	35～39歳	88 100.0	26 29.5	11 12.5	9 10.2	27 30.7	10 11.4	1 1.1	1 2.3	2 1.1
	40～44歳	79 100.0	45 57.0	4 5.1	3 3.8	23 29.1	1 1.3	2 2.5	1 1.3	0 0.0
	45～54歳	94 100.0	65 69.1	11 11.7	1 1.1	11 11.7	3 3.2	1 1.1	0 0.0	1 1.1
最終学歴	中卒・高卒・ 高卒相当	39 100.0	19 48.7	2 5.1	1 2.6	13 33.3	0 0.0	2 5.1	1 2.6	1 2.6
	短大・ 専門学校卒	83 100.0	46 55.4	10 12.0	3 3.6	21 25.3	1 1.2	2 2.4	0 0.0	0 0.0
	大学・ 大学院卒	139 100.0	71 51.1	14 10.1	9 6.5	27 19.4	13 9.4	0 0.0	1 0.7	2 1.4
同居状況	同居者あり	136 100.0	71 52.2	13 9.6	6 4.4	34 25.0	5 3.7	4 2.9	1 0.7	2 1.5
	一人暮らし	125 100.0	65 52.0	13 10.4	7 5.6	27 21.6	9 7.2	0 0.0	1 0.8	1 0.8
自身の 税込年 収	150万円未満	74 100.0	33 44.6	5 6.8	3 4.1	23 31.1	4 5.4	2 2.7	1 1.4	2 2.7
	150万円以上 250万円未満	104 100.0	61 58.7	11 10.6	4 3.8	20 19.2	4 3.8	2 1.9	1 1.0	1 0.0
	250万円以上	83 100.0	43 51.8	9 10.8	6 7.2	18 21.7	6 7.2	0 0.0	0 0.0	1 1.2
就業 形態	契約・嘱託	75 100.0	40 53.3	15 20.0	2 2.7	14 18.7	3 4.0	0 0.0	0 0.0	0 1.3
	派遣社員	61 100.0	35 57.4	3 4.9	8 13.1	12 19.7	2 3.3	1 1.6	0 0.0	0 0.0
	パート・ アルバイト	53 100.0	24 45.3	2 3.8	3 5.7	21 39.6	1 1.9	2 3.8	0 0.0	0 0.0
	非常勤	27 100.0	16 59.3	2 7.4	0 0.0	2 7.4	7 25.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	業務請負等	37 100.0	17 45.9	3 8.1	0 0.0	9 24.3	1 2.7	1 2.7	2 5.4	3 8.1

第2章 ウェブアンケート調査の結果

② 初職の職種

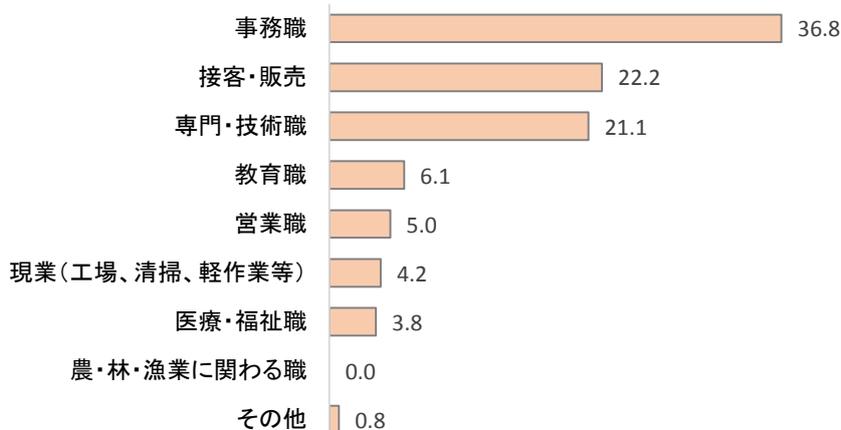
Q.20 学校を卒業(中退)したあと最初についた仕事の職種は、以下のどれにあてはまりますか。

学校卒業後についた初職の職種は、「事務職」が36.8%と3人に1人以上の比率となっており、「接客・販売」、「専門・技術職」が約2割でこれに次いでいる。

現在の就業形態別に初職の職種をみると、「派遣社員」の5割近くが「事務職」をあげ、「非常勤」は「教育職」、「業務請負等」は「専門・技術職」がそれぞれ1位となっている。

◆Q.20 初職の職種 (SA) 【値の高い順】

n=261
(単位：%)



上段：人 下段：%	合計	Q.20 初職の職種 (SA)									
		事務職	営業職	専門・ 技術職	医療・ 福祉職	教育職	接客・販売	現業(工場、清 掃、軽作業等)	農・林・漁業 に関わる職	その他	
全体	261 100.0	96 36.8	13 5.0	55 21.1	10 3.8	16 6.1	58 22.2	11 4.2	0 0.0	2 0.8	
年齢	35~39歳	88 100.0	33 37.5	0 0.0	15 17.0	3 3.4	8 9.1	25 28.4	4 4.5	0 0.0	0 0.0
	40~44歳	79 100.0	26 32.9	9 11.4	14 17.7	2 2.5	3 3.8	18 22.8	5 6.3	0 0.0	2 2.5
	45~54歳	94 100.0	37 39.4	4 4.3	26 27.7	5 5.3	5 5.3	15 16.0	2 2.1	0 0.0	0 0.0
最終 学歴	中卒・高卒・ 高卒相当	39 100.0	16 41.0	1 2.6	5 12.8	0 0.0	1 2.6	12 30.8	4 10.3	0 0.0	0 0.0
	短大・ 専門学校卒	83 100.0	32 38.6	2 2.4	20 24.1	3 3.6	0 0.0	21 25.3	4 4.8	0 0.0	1 1.2
	大学・ 大学院卒	139 100.0	48 34.5	10 7.2	30 21.6	7 5.0	15 10.8	25 18.0	3 2.2	0 0.0	1 0.7
同居 状況	同居者あり	136 100.0	61 44.9	5 3.7	21 15.4	3 2.2	7 5.1	30 22.1	8 5.9	0 0.0	1 0.7
	一人暮らし	125 100.0	35 28.0	8 6.4	34 27.2	7 5.6	9 7.2	28 22.4	3 2.4	0 0.0	1 0.8
自身 の税 込年 収	150万円未満	74 100.0	21 28.4	6 8.1	13 17.6	3 4.1	4 5.4	19 25.7	7 9.5	0 0.0	1 1.4
	150万円以上 250万円未満	104 100.0	45 43.3	2 1.9	19 18.3	5 4.8	6 5.8	23 22.1	3 2.9	0 0.0	1 1.0
	250万円以上	83 100.0	30 36.1	5 6.0	20 24.1	2 2.4	6 7.2	15 18.1	0 0.0	0 0.0	5 6.0
	契約・嘱託	75 100.0	26 34.7	7 9.3	15 20.0	2 2.7	1 1.3	23 30.7	1 1.3	0 0.0	0 0.0
就業 形態	派遣社員	61 100.0	29 47.5	3 4.9	14 23.0	3 4.9	3 4.9	9 14.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	パート・ アルバイト	53 100.0	20 37.7	1 1.9	5 9.4	4 7.5	1 1.9	14 26.4	8 15.1	0 0.0	0 0.0
	非常勤	27 100.0	6 22.2	0 0.0	6 22.2	0 0.0	9 33.3	5 18.5	0 0.0	0 0.0	1 3.7
	業務請負等	37 100.0	12 32.4	1 2.7	14 37.8	1 2.7	2 5.4	5 13.5	2 5.4	0 0.0	0 0.0
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(2) 現在の就業状況

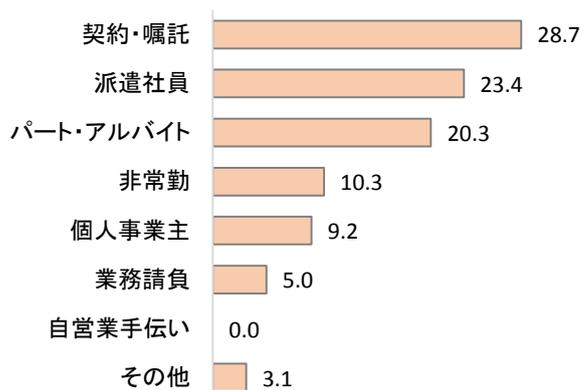
① 現在の就業形態

Q.21 現在のあなたの仕事の就業形態は、以下のどれにあてはまりますか。

現在の就業形態は、「契約・嘱託」28.7%、「派遣社員」23.4%、「パート・アルバイト」20.3%の順で多く、「業務請負等」（個人事業主・業務請負）、「非常勤」も約1割ずつみられる。

◆Q.21 現在の就業形態（SA）【値の高い順】

n=261
(単位：%)



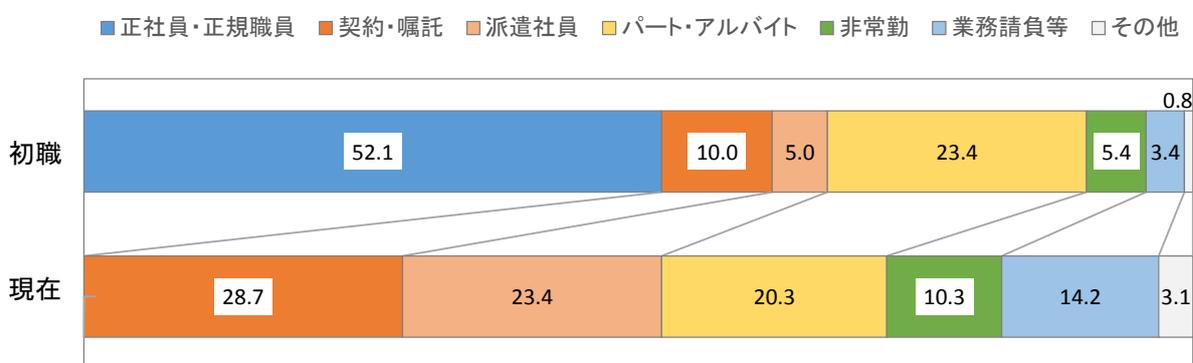
上段：人 下段：%	合計	Q.21 現在の就業形態（SA）								
		契約・嘱託	派遣社員	パート・ アルバイト	非常勤	自営業 手伝い	業務請負	個人 事業主	その他	
全体	261 100.0	75 28.7	61 23.4	53 20.3	27 10.3	0 0.0	13 5.0	24 9.2	8 3.1	
年齢	35～39歳	88 100.0	27 30.7	21 23.9	18 20.5	11 12.5	0 0.0	4 4.5	6 6.8	1 1.1
	40～44歳	79 100.0	23 29.1	20 25.3	16 20.3	4 5.1	0 0.0	2 2.5	10 12.7	4 5.1
	45～54歳	94 100.0	25 26.6	20 21.3	19 20.2	12 12.8	0 0.0	7 7.4	8 8.5	3 3.2
最終学歴	中卒・高卒・ 高卒相当	39 100.0	6 15.4	9 23.1	10 25.6	2 5.1	0 0.0	4 10.3	5 12.8	3 7.7
	短大・ 専門学校卒	83 100.0	24 28.9	21 25.3	21 25.3	5 6.0	0 0.0	5 6.0	5 6.0	2 2.4
	大学・ 大学院卒	139 100.0	45 32.4	31 22.3	22 15.8	20 14.4	0 0.0	4 2.9	14 10.1	3 2.2
同居状況	同居者あり	136 100.0	37 27.2	28 20.6	34 25.0	14 10.3	0 0.0	3 2.2	15 11.0	5 3.7
	一人暮らし	125 100.0	38 30.4	33 26.4	19 15.2	13 10.4	0 0.0	10 8.0	9 7.2	3 2.4
自身の 税込年 収	150万円未満	74 100.0	11 14.9	3 4.1	34 45.9	8 10.8	0 0.0	3 4.1	9 12.2	6 8.1
	150万円以上 250万円未満	104 100.0	27 26.0	32 30.8	17 16.3	14 13.5	0 0.0	7 6.7	7 6.7	0 0.0
	250万円以上	83 100.0	37 44.6	26 31.3	2 2.4	5 6.0	0 0.0	3 3.6	8 9.6	2 2.4

第2章 ウェブアンケート調査の結果

初職の就業形態 (Q. 19) と現在の就業形態 (Q. 21) から働き方の移行パターンをみると、初職に正規職だった人の約3割が、現在「契約・嘱託」として働いており、「派遣社員」、「パート・アルバイト」が各2割ずつとなっている。「パート・アルバイト」だった人は、約3分の2が、「契約・嘱託」、「派遣社員」など他の働き方に移行している。「業務請負等」と「派遣社員」は、比較的他の働き方への移行者が少ない。

【就業形態—初職と現職の比較— (再集計)】

n=261
(単位：%)



上段：人 下段：%	合計	現在の就業形態						
		契約・嘱託	派遣社員	パート・アルバイト	非常勤	業務請負等	その他	
全体	261 100.0	75 28.7	61 23.4	53 20.3	27 10.3	37 14.2	8 3.1	
初職の就業形態	正規職	136 100.0	40 29.4	35 25.7	24 17.6	16 11.8	17 12.5	4 2.9
	契約・嘱託	26 100.0	15 57.7	3 11.5	2 7.7	2 7.7	3 11.5	1 3.8
	派遣社員	13 100.0	2 15.4	8 61.5	3 23.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	パート・アルバイト	61 100.0	14 23.0	12 19.7	21 34.4	2 3.3	9 14.8	3 4.9
	非常勤	14 100.0	3 21.4	2 14.3	1 7.1	7 50.0	1 7.1	0 0.0
	業務請負等	9 100.0	0 0.0	1 11.1	2 22.2	0 0.0	6 66.7	0 0.0
	その他	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0

※「業務請負等」には、自営業手伝い・業務請負・個人事業主を含む。

「その他」には、その時点で無業の状態の人を含む。

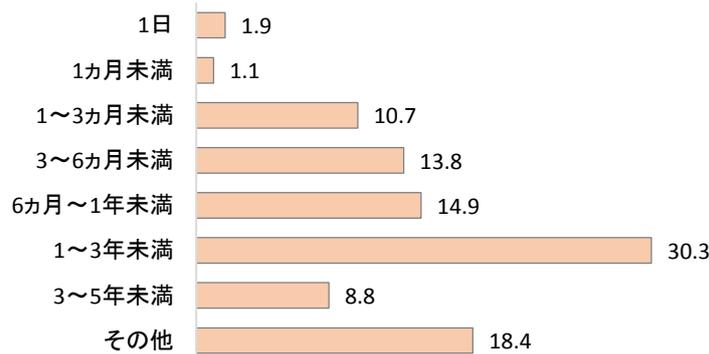
② 現職の契約期間

Q.22 現在のあなたの仕事の、雇用契約の期間は、以下のどれにあてはまりますか。
複数の仕事をしている人は、メインの仕事についてお答えください。

現在の仕事の契約期間は、1年未満が4割超で、「1～3年未満」が3割、「3～5年未満」が約1割となっている。「その他」（期間が決まっていないなど）も約2割みられる。

◆Q.22 現職の契約期間 (SA)

n=261
(単位：%)



上段：人 下段：%		合計	Q.22 現職の契約期間 (SA)							
			1日	1か月未満	1～3か月未満	3～6か月未満	6か月～1年未満	1～3年未満	3～5年未満	その他
全体		261 100.0	5 1.9	3 1.1	28 10.7	36 13.8	39 14.9	79 30.3	23 8.8	48 18.4
年齢	35～39歳	88 100.0	1 1.1	0 0.0	11 12.5	12 13.6	12 13.6	28 31.8	10 11.4	14 15.9
	40～44歳	79 100.0	1 1.3	0 0.0	8 10.1	14 17.7	14 17.7	18 22.8	8 10.1	16 20.3
	45～54歳	94 100.0	3 3.2	3 3.2	9 9.6	10 10.6	13 13.8	33 35.1	5 5.3	18 19.1
最終学歴	中卒・高卒・ 高卒相当	39 100.0	2 5.1	1 2.6	1 2.6	11 28.2	6 15.4	6 15.4	2 5.1	10 25.6
	短大・ 専門学校卒	83 100.0	2 2.4	0 0.0	13 15.7	9 10.8	12 14.5	18 21.7	13 15.7	16 19.3
	大学・ 大学院卒	139 100.0	1 0.7	2 1.4	14 10.1	16 11.5	21 15.1	55 39.6	8 5.8	22 15.8
同居状況	同居者あり	136 100.0	2 1.5	2 1.5	15 11.0	15 11.0	18 13.2	43 31.6	15 11.0	26 19.1
	一人暮らし	125 100.0	3 2.4	1 0.8	13 10.4	21 16.8	21 16.8	36 28.8	8 6.4	22 17.6
自身の税込年収	150万円未満	74 100.0	3 4.1	2 2.7	10 13.5	6 8.1	8 10.8	17 23.0	8 10.8	20 27.0
	150万円以上 250万円未満	104 100.0	2 1.9	1 1.0	10 9.6	15 14.4	17 16.3	38 36.5	8 7.7	13 12.5
	250万円以上	83 100.0	0 0.0	0 0.0	8 9.6	15 18.1	14 16.9	24 28.9	7 8.4	15 18.1
就業形態	契約・嘱託	75 100.0	0 0.0	0 0.0	4 5.3	6 8.0	16 21.3	31 41.3	10 13.3	8 10.7
	派遣社員	61 100.0	0 0.0	1 1.6	15 24.6	23 37.7	5 8.2	13 21.3	3 4.9	1 1.6
	パート・ アルバイト	53 100.0	0 0.0	1 1.9	6 11.3	4 7.5	9 17.0	18 34.0	3 5.7	12 22.6
	非常勤	27 100.0	0 0.0	0 0.0	1 3.7	1 3.7	5 18.5	14 51.9	4 14.8	2 7.4
	業務請負等	37 100.0	5 13.5	0 0.0	1 2.7	2 5.4	3 8.1	3 8.1	3 8.1	20 54.1

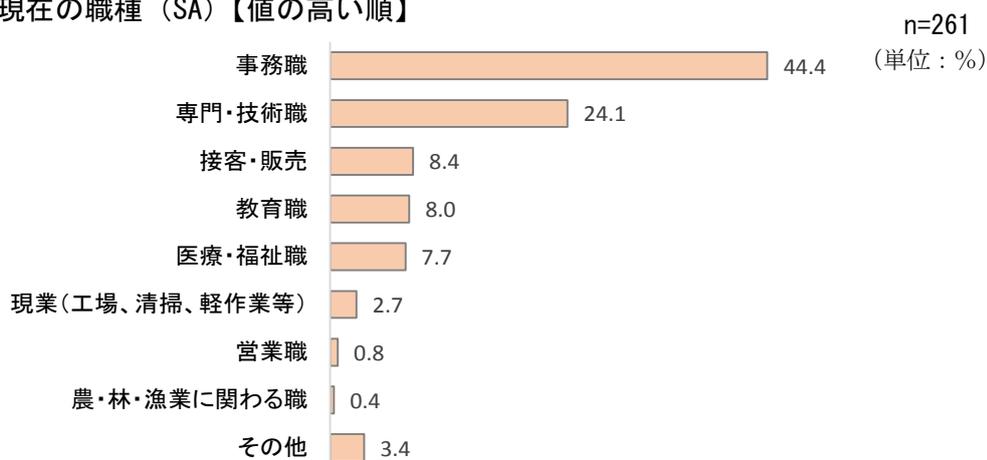
③ 現在の職種

Q.23 現在のあなたの仕事の職種は、以下のどれにあてはまりますか。
複数の仕事をしている人は、メインの仕事についてお答えください。

現在の職種は、「事務職」が44.4%と最も多く、「専門・技術職」が24.1%でこれに次いでいる。

属性別にみると、「業務請負等」では約6割が「専門・技術職」、「非常勤」では約5割が「教育職」である。「パート・アルバイト」では「接客・販売」が3割と、他の働き方に比べて多くなっている。

◆Q.23 現在の職種 (SA) 【値の高い順】

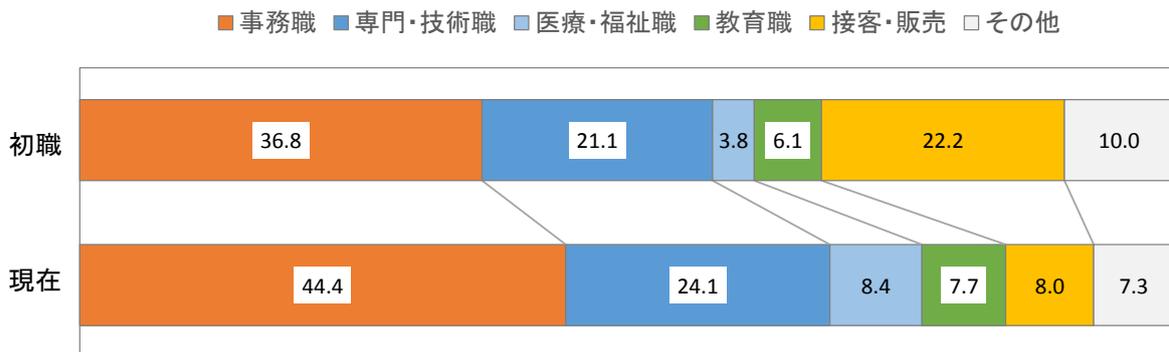


上段：人 下段：%	合計	Q.23 現在の職種 (SA)									
		事務職	営業職	専門・ 技術職	医療・ 福祉職	教育職	接客・販売	現業(工場、清 掃、軽作業等)	農・林・漁業 に関わる職	その他	
全体	261 100.0	116 44.4	2 0.8	63 24.1	22 8.4	20 7.7	21 8.0	7 2.7	1 0.4	9 3.4	
年齢	35~39歳	88 100.0	41 46.6	0 0.0	20 22.7	7 8.0	8 9.1	6 6.8	3 3.4	1 1.1	2 2.3
	40~44歳	79 100.0	33 41.8	1 1.3	21 26.6	6 7.6	3 3.8	8 10.1	3 3.8	0 0.0	4 5.1
	45~54歳	94 100.0	42 44.7	1 1.1	22 23.4	9 9.6	9 9.6	7 7.4	1 1.1	0 0.0	3 3.2
最終学歴	中卒・高卒・ 高卒相当	39 100.0	17 43.6	1 2.6	9 23.1	4 10.3	0 0.0	4 10.3	3 7.7	0 0.0	1 2.6
	短大・ 専門学校卒	83 100.0	42 50.6	0 0.0	17 20.5	7 8.4	2 2.4	9 10.8	2 2.4	1 1.2	3 3.6
	大学・ 大学院卒	139 100.0	57 41.0	1 0.7	37 26.6	11 7.9	18 12.9	8 5.8	2 1.4	0 0.0	5 3.6
同居状況	同居者あり	136 100.0	64 47.1	0 0.0	27 19.9	11 8.1	9 6.6	12 8.8	7 5.1	0 0.0	6 4.4
	一人暮らし	125 100.0	52 41.6	2 1.6	36 28.8	11 8.8	11 8.8	9 7.2	0 0.0	1 0.8	3 2.4
自身の税込年収	150万円未満	74 100.0	23 31.1	0 0.0	10 13.5	7 9.5	6 8.1	15 20.3	4 5.4	1 1.4	8 10.8
	150万円以上 250万円未満	104 100.0	51 49.0	2 1.9	23 22.1	8 7.7	10 9.6	6 5.8	3 2.9	0 0.0	1 1.0
	250万円以上	83 100.0	42 50.6	0 0.0	30 36.1	7 8.4	4 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
就業形態	契約・嘱託	75 100.0	44 58.7	1 1.3	16 21.3	8 10.7	3 4.0	3 4.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	派遣社員	61 100.0	42 68.9	0 0.0	18 29.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.6	0 0.0	0 0.0
	パート・ アルバイト	53 100.0	15 28.3	0 0.0	5 9.4	8 15.1	1 1.9	16 30.2	5 9.4	1 1.9	2 3.8
	非常勤	27 100.0	7 25.9	0 0.0	2 7.4	5 18.5	13 48.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	業務請負等	37 100.0	5 13.5	1 2.7	22 59.5	1 2.7	3 8.1	2 5.4	1 2.7	1 0.0	2 5.4

初職の職種 (Q. 20) と現在の職種 (Q. 23) から働き方の移行パターンをみると、「事務職」、「医療・福祉職」、「専門・技術職」は、他の職種からの移行が多く、「接客・販売」や「その他」(現業・営業等) は、他の職種への移行が多くなっており、全体的に専門性を身につけて働き方を変えようとする志向が高いことがうかがわれる。

【職種—初職と現職の比較— (再集計)】

n=261
(単位：%)



上段：人 下段：%	合計	現在の職種						
		事務職	専門・技術職	医療・福祉職	教育職	接客・販売	その他	
全体	261 100.0	116 44.4	63 24.1	22 8.4	20 7.7	21 8.0	19 7.3	
初職の職種	事務職	96 100.0	62 64.6	11 11.5	6 6.3	4 4.2	5 5.2	8 8.3
	専門・技術職	55 100.0	12 21.8	33 60.0	3 5.5	1 1.8	2 3.6	4 7.3
	医療・福祉職	10 100.0	1 10.0	2 20.0	5 50.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0
	教育職	16 100.0	3 18.8	3 18.8	10 62.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	接客・販売	58 100.0	31 53.4	7 12.1	6 10.3	3 5.2	10 17.2	1 1.7
	その他	26 100.0	7 26.9	7 26.9	2 7.7	1 3.8	3 11.5	6 23.1

※「その他」には、営業、現業（工場、清掃、軽作業等）、農・林・漁業に関わる職も含む。

④ 仕事のかけもち

Q.24 あなたは現在、複数の仕事をかけもちしていますか。

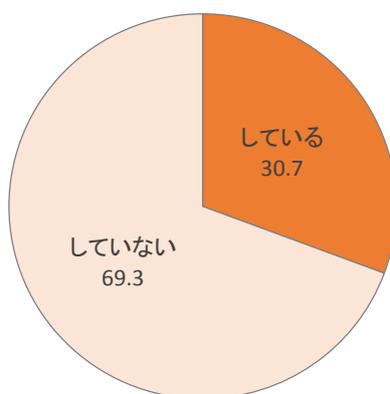
仕事のかけもちを「している」と答えた人は、3割となっている。

属性別にみると、年齢が高いほど、自身の年収が高いほど、同居状況別には「一人暮らし」で、かけもちをしている人の比率が高くなっている。

就業形態別にみると、「非常勤」の6割、「業務請負等」の4割以上が、仕事のかけもちをしていると答えている。

◆Q.24 仕事のかけもち (SA)

n=261
(単位：%)



上段：人 下段：%	合計	Q.24 仕事のかけもち (SA)		
		している	していない	
全体	261 100.0	80 30.7	181 69.3	
年齢	35～39歳	88 100.0	21 23.9	67 76.1
	40～44歳	79 100.0	22 27.8	57 72.2
	45～54歳	94 100.0	37 39.4	57 60.6
最終学歴	中卒・高卒・ 高卒相当	39 100.0	12 30.8	27 69.2
	短大・ 専門学校卒	83 100.0	19 22.9	64 77.1
	大学・ 大学院卒	139 100.0	49 35.3	90 64.7
	同居状況	同居者あり	136 100.0	32 23.5
自身の 税込年 収	一人暮らし	125 100.0	48 38.4	77 61.6
	150万円未満	74 100.0	21 28.4	53 71.6
	150万円以上 250万円未満	104 100.0	32 30.8	72 69.2
	250万円以上	83 100.0	27 32.5	56 67.5
就業 形態	契約・嘱託	75 100.0	14 18.7	61 81.3
	派遣社員	61 100.0	15 24.6	46 75.4
	パート・ アルバイト	53 100.0	17 32.1	36 67.9
	非常勤	27 100.0	16 59.3	11 40.7
	業務請負等	37 100.0	16 43.2	21 56.8

⑤ 週当たり労働時間

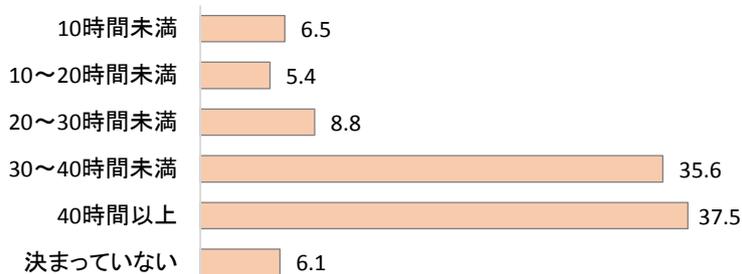
Q.25 あなたの1週間あたりの実労働時間は、どれくらいですか。
 複数の仕事をしている人は、合計した時間をお答えください。

1週間の実労働時間は、「40時間以上」が37.5%、「30～40時間未満」が35.6%と、7割以上の人が週30時間以上仕事をしている（仕事をかけもちしている場合は合計時間を回答）。

属性別にみると、年齢が高いほど、学歴が高いほど、年収が高いほど、また、同居状況別には「一人暮らし」で、「40時間以上」の比率が高くなっている。とくに、年収「250万円以上」および「契約・嘱託」の人の過半数が「40時間以上」仕事をしている。年収「150万円未満」および「パート・アルバイト」では、「30～40時間未満」に次いで「20～30時間未満」の比率が高くなっている。

◆Q.25 週当たり労働時間 (SA)

n=261
 (単位：%)



上段：人 下段：%		合計	Q.25 週当たり労働時間 (SA)					
			10時間 未満	10～20時間 未満	20～30時間 未満	30～40時間 未満	40時間 以上	決まっ てい ない
全体		261 100.0	17 6.5	14 5.4	23 8.8	93 35.6	98 37.5	16 6.1
年齢	35～39歳	88 100.0	5 5.7	3 3.4	10 11.4	34 38.6	31 35.2	5 5.7
	40～44歳	79 100.0	6 7.6	3 3.8	5 6.3	31 39.2	28 35.4	6 7.6
	45～54歳	94 100.0	6 6.4	8 8.5	8 8.5	28 29.8	39 41.5	5 5.3
最終学歴	中卒・高卒・ 高卒相当	39 100.0	4 10.3	3 7.7	5 12.8	9 23.1	14 35.9	4 10.3
	短大・ 専門学校卒	83 100.0	6 7.2	5 6.0	8 9.6	30 36.1	31 37.3	3 3.6
	大学・ 大学院卒	139 100.0	7 5.0	6 4.3	10 7.2	54 38.8	53 38.1	9 6.5
同居状況	同居者あり	136 100.0	11 8.1	10 7.4	12 8.8	53 39.0	42 30.9	8 5.9
	一人暮らし	125 100.0	6 4.8	4 3.2	11 8.8	40 32.0	56 44.8	8 6.4
自身の 税込年 収	150万円未満	74 100.0	11 14.9	11 14.9	15 20.3	18 24.3	8 10.8	11 14.9
	150万円以上 250万円未満	104 100.0	4 3.8	2 1.9	7 6.7	50 48.1	37 35.6	4 3.8
	250万円以上	83 100.0	2 2.4	1 1.2	1 1.2	25 30.1	53 63.9	1 1.2
	契約・嘱託	75 100.0	0 0.0	2 2.7	2 2.7	29 38.7	42 56.0	0 0.0
就業 形態	派遣社員	61 100.0	1 1.6	1 1.6	2 3.3	28 45.9	29 47.5	0 0.0
	パート・ アルバイト	53 100.0	6 11.3	5 9.4	13 24.5	16 30.2	8 15.1	5 9.4
	非常勤	27 100.0	1 3.7	3 11.1	4 14.8	13 48.1	5 18.5	1 3.7
	業務請負等	37 100.0	5 13.5	3 8.1	2 5.4	6 16.2	13 35.1	8 21.6

(3) 仕事の悩みや不安

① 利用した支援機関

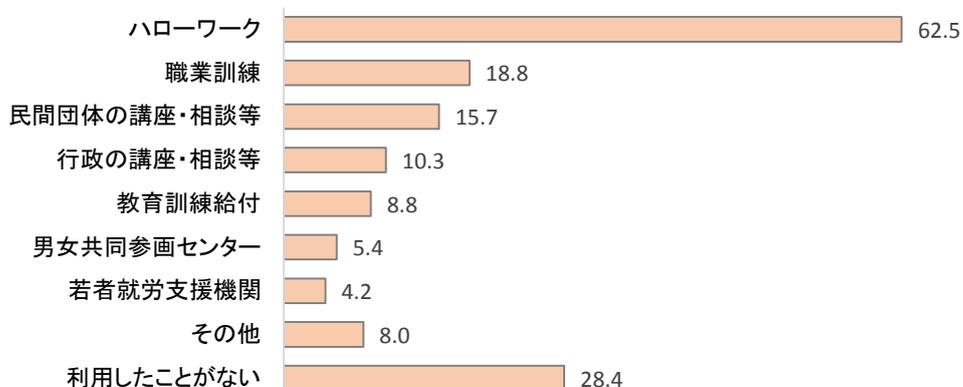
Q.26 就業に際して、これまでに利用した支援機関はなんですか。いくつでもお答えください。

就業に際してこれまでに利用した支援機関としては、62.5%が「ハローワーク」をあげ、その他「職業訓練」、民間団体や行政の講座・相談など多様にみられる（利用したことのある人の平均選択数 1.87 項目）。一方で、「利用したことがない」人も 28.4%と 3 割近くみられる。

属性別にみると、学歴が高いほど、年収が高いほど、また、同居状況別には「一人暮らし」で、「利用したことがない」人の比率が高くなっている。

◆Q.26 利用した支援機関 (MA) 【値の高い順】

n=261
(単位: %)



上段: 人 下段: %	合計	Q.26 就業について利用した支援機関 (MA)										
		職業訓練	教育訓練 給付	行政の講座・ 相談等	民間団体の 講座・相談等	ハローワー ク	男女共同参 画センター	若者就労 支援機関	利用したこ とがない	その他		
全体	261 100.0	49 18.8	23 8.8	27 10.3	41 15.7	163 62.5	14 5.4	11 4.2	74 28.4	21 8.0		
年齢	35~39歳	88 100.0	17 19.3	6 6.8	7 8.0	15 17.0	50 56.8	5 5.7	7 8.0	28 31.8	6 6.8	
	40~44歳	79 100.0	16 20.3	8 10.1	7 8.9	13 16.5	51 64.6	3 3.8	2 2.5	19 24.1	8 10.1	
	45~54歳	94 100.0	16 17.0	9 9.6	13 13.8	13 13.8	62 66.0	6 6.4	2 2.1	27 28.7	7 7.4	
	最終学歴	中卒・高卒・ 高卒相当	39 100.0	11 28.2	4 10.3	3 7.7	8 20.5	27 69.2	0 0.0	2 5.1	10 25.6	2 5.1
最終学歴	短大・ 専門学校卒	83 100.0	18 21.7	11 13.3	7 8.4	9 10.8	54 65.1	7 8.4	2 2.4	21 25.3	7 8.4	
	大学・ 大学院卒	139 100.0	20 14.4	8 5.8	17 12.2	24 17.3	82 59.0	7 5.0	7 5.0	43 30.9	12 8.6	
	同居状況	同居者あり	136 100.0	22 16.2	6 4.4	17 12.5	22 16.2	91 66.9	11 8.1	7 5.1	33 24.3	15 11.0
	一人暮らし	125 100.0	27 21.6	17 13.6	10 8.0	19 15.2	72 57.6	3 2.4	4 3.2	41 32.8	6 4.8	
自身の 税込年 収	150万円未満	74 100.0	17 23.0	5 6.8	9 12.2	8 10.8	49 66.2	8 10.8	6 8.1	20 27.0	9 12.2	
	150万円以上 250万円未満	104 100.0	20 19.2	12 11.5	12 11.5	22 21.2	71 68.3	3 2.9	4 3.8	22 21.2	7 6.7	
	250万円以上	83 100.0	12 14.5	6 7.2	6 7.2	11 13.3	43 51.8	3 3.6	1 1.2	32 38.6	5 6.0	
	就業形 態	契約・嘱託	75 100.0	15 20.0	8 10.7	6 8.0	13 17.3	49 65.3	4 5.3	2 2.7	19 25.3	11 14.7
派遣社員		61 100.0	9 14.8	7 11.5	7 11.5	6 9.8	38 62.3	1 1.6	1 1.6	18 29.5	1 1.6	
パート・ アルバイト		53 100.0	15 28.3	5 9.4	11 20.8	10 18.9	39 73.6	6 11.3	6 11.3	10 18.9	5 9.4	
非常勤		27 100.0	3 11.1	0 0.0	0 0.0	5 18.5	14 51.9	1 3.7	2 7.4	10 37.0	1 3.7	
業務請負等		37 100.0	5 13.5	3 8.1	1 2.7	4 10.8	15 40.5	2 5.4	0 0.0	17 45.9	1 2.7	

② 非正規職についている理由

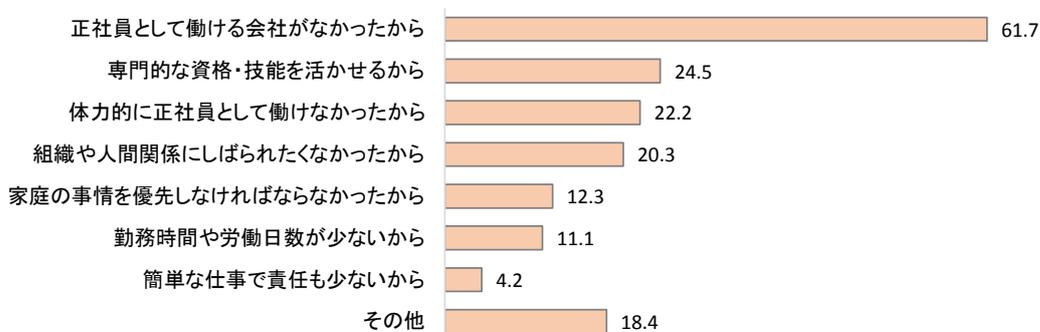
Q.27 あなたが非正規職についている理由はなんですか。あてはまるものを、いくつでもお答えください。

非正規職である理由としては、「正社員として働ける会社がなかったから」が 61.7%と最も多く、次いで「専門的な資格・技能を活かせるから」24.5%、「体力的に正社員として働けなかったから」22.2%、「組織や人間関係にしばられたくなかったから」20.3%などがみられる（全回答者の平均選択数 1.75 項目）。

「契約・嘱託」、「派遣社員」では7割以上が「正社員として働ける会社がなかったから」を、「業務請負等」の5割以上、「非常勤」の4割近くが「専門的な資格・技能を活かせるから」をあげた。「パート・アルバイト」および年収「150万円未満」では、「正社員として働ける会社がなかったから」に次いで、「体力的に正社員として働けなかったから」の比率が高くなっている。

◆Q.27 非正規職についている理由（MA）【値の高い順】

n=261
(単位：%)



上段：人 下段：%	合計	Q.27 非正規職についている理由（MA）								
		正社員として働ける会社がなかったから	家庭の事情を優先しなければならなかったから	体力的に正社員として働けなかったから	組織や人間関係にしばられたくなかったから	専門的な資格・技能を活かせるから	勤務時間や労働日数が少ないから	簡単な仕事で責任も少ないから	その他	
全体	261 100.0	161 61.7	32 12.3	58 22.2	53 20.3	64 24.5	29 11.1	11 4.2	48 18.4	
年齢	35～39歳	88 100.0	53 60.2	4 4.5	22 25.0	18 20.5	16 18.2	8 9.1	6 6.8	19 21.6
	40～44歳	79 100.0	47 59.5	10 12.7	17 21.5	17 21.5	19 24.1	10 12.7	4 5.1	15 19.0
	45～54歳	94 100.0	61 64.9	18 19.1	19 20.2	18 19.1	29 30.9	11 11.7	1 1.1	14 14.9
最終学歴	中卒・高卒・高卒相当	39 100.0	23 59.0	6 15.4	10 25.6	10 25.6	6 15.4	7 17.9	3 7.7	8 20.5
	短大・専門学校卒	83 100.0	50 60.2	13 15.7	20 24.1	17 20.5	15 18.1	8 9.6	1 1.2	14 16.9
	大学・大学院卒	139 100.0	88 63.3	13 9.4	28 20.1	26 18.7	43 30.9	14 10.1	7 5.0	26 18.7
同居状況	同居者あり	136 100.0	85 62.5	18 13.2	36 26.5	24 17.6	27 19.9	15 11.0	4 2.9	24 17.6
	一人暮らし	125 100.0	76 60.8	14 11.2	22 17.6	29 23.2	37 29.6	14 11.2	7 5.6	24 19.2
自身の税込年収	150万円未満	74 100.0	41 55.4	21 28.4	29 39.2	13 17.6	12 16.2	13 17.6	2 2.7	14 18.9
	150万円以上 250万円未満	104 100.0	63 60.6	8 7.7	21 20.2	22 21.2	24 23.1	9 8.7	5 4.8	22 21.2
	250万円以上	83 100.0	57 68.7	3 3.6	8 9.6	18 21.7	28 33.7	7 8.4	4 4.8	12 14.5
	契約・嘱託	75 100.0	54 72.0	6 8.0	5 6.7	4 5.3	19 25.3	5 6.7	0 0.0	13 17.3
就業形態	派遣社員	61 100.0	45 73.8	5 8.2	6 9.8	17 27.9	10 16.4	5 8.2	7 11.5	8 13.1
	パート・アルバイト	53 100.0	29 54.7	12 22.6	28 52.8	15 28.3	4 7.5	12 22.6	4 7.5	9 17.0
	非常勤	27 100.0	16 59.3	3 11.1	7 25.9	1 3.7	10 37.0	2 7.4	0 0.0	5 18.5
	業務請負等	37 100.0	11 29.7	5 13.5	8 21.6	15 40.5	20 54.1	5 13.5	0 0.0	12 32.4

③ 仕事に関する悩みや不安

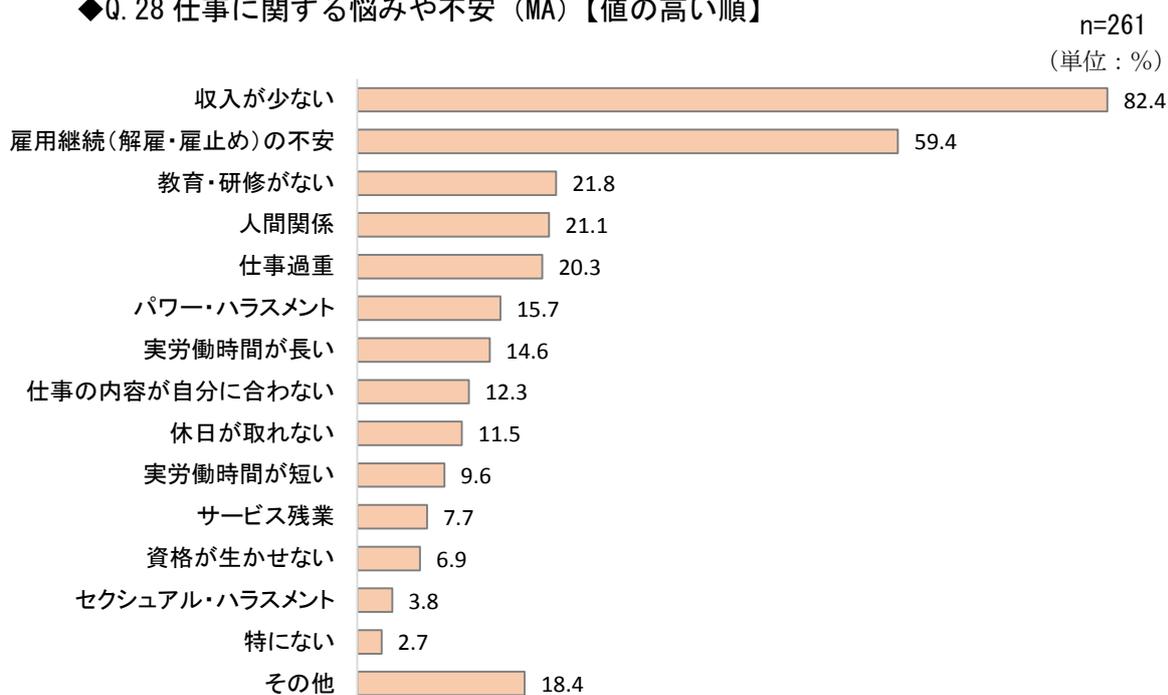
Q.28 あなたが現在感じている、仕事に関する悩みや不安はなんですか。
あてはまるものを、いくつでもお答えください。

現在の仕事に関する悩みや不安としては、「収入が少ない」を82.4%と8割以上があげ、「雇用継続（解雇・雇止め）の不安」も59.4%と約6割があげた。その他「教育・研修がない」、「人間関係」、「仕事過重」など多様な項目があげられている（全回答者の平均選択数3.08項目）。

「収入が少ない」は、「パート・アルバイト」および年収「150万円未満」でとくに高率となっている。「雇用継続の不安」は、「派遣社員」でとくに高く、「契約・嘱託」でも高くなっている。また、「パート・アルバイト」では「人間関係」、「契約・嘱託」では「仕事過重」をあげた人の比率がやや高くなっていることも注目される。

なお、「その他」の記述内容としては、「立場の割に仕事がきつい」、「ノルマがきつい」、「福利厚生がない」、「退職金がない」、「職場が遠い」など、職場の環境・待遇の面で不公平感や負担感が生じているケースが多くみられる。

◆Q.28 仕事に関する悩みや不安（MA）【値の高い順】



第2章 ウェブアンケート調査の結果

上段：人 下段：%	合計	Q.28 仕事に関する悩みや不安 (MA)															
		雇用継続 (解雇・雇 止め)の不安	収入が少 ない	人間関係	セクシュ アル・ハラ スメント	パワー・ ハラスメ ント	実労働時 間ながい	実労働時 間がない	休日が取 れない	サービス 残業	仕事過重	教育・研 修がない	資格が生 かせない	仕事の内 容が自分 に合わない	特にな い	その他	
全体	261 100.0	155 59.4	215 82.4	55 21.1	10 3.8	41 15.7	38 14.6	25 9.6	30 11.5	20 7.7	53 20.3	57 21.8	18 6.9	32 12.3	7 2.7	48 18.4	
年齢	35～39歳	88 100.0	54 61.4	73 83.0	22 25.0	3 3.4	7 8.0	14 15.9	10 11.4	7 8.0	9 10.2	18 20.5	20 22.7	5 5.7	13 14.8	4 4.5	10 11.4
	40～44歳	79 100.0	45 57.0	64 81.0	14 17.7	2 2.5	12 15.2	11 13.9	5 6.3	10 12.7	5 6.3	15 19.0	14 17.7	6 7.6	5 6.3	2 2.5	17 21.5
	45～54歳	94 100.0	56 59.6	78 83.0	19 20.2	5 5.3	22 23.4	13 13.8	10 10.6	13 13.8	6 6.4	20 21.3	23 24.5	7 7.4	14 14.9	1 1.1	21 22.3
最終学歴	中卒・高卒・ 高卒相当	39 100.0	24 61.5	31 79.5	9 23.1	1 2.6	5 12.8	4 10.3	6 15.4	3 7.7	5 12.8	6 15.4	7 17.9	6 15.4	4 10.3	2 5.1	5 12.8
	短大・ 専門学校卒	83 100.0	44 53.0	66 79.5	18 21.7	5 6.0	19 22.9	15 18.1	8 9.6	13 15.7	6 7.2	15 18.1	19 22.9	5 6.0	10 12.0	5 6.0	10 12.0
	大学・ 大学院卒	139 100.0	87 62.6	118 84.9	28 20.1	4 2.9	17 12.2	19 13.7	11 7.9	14 10.1	9 6.5	32 23.0	31 22.3	7 5.0	18 12.9	0 0.0	33 23.7
	同居者あり	136 100.0	80 58.8	113 83.1	31 22.8	5 3.7	18 13.2	11 8.1	13 9.6	11 8.1	10 7.4	28 20.6	32 23.5	7 5.1	20 14.7	5 3.7	33 24.3
一人暮らし	125 100.0	75 60.0	102 81.6	24 19.2	5 4.0	23 18.4	27 21.6	12 9.6	19 15.2	10 8.0	25 20.0	25 20.0	11 8.8	12 9.6	2 1.6	15 12.0	
自身の 税込年 収	150万円未満	74 100.0	31 41.9	64 86.5	16 21.6	2 2.7	11 14.9	5 6.8	15 20.3	5 6.8	7 9.5	10 13.5	18 24.3	7 9.5	14 18.9	2 2.7	14 18.9
	150万円以上 250万円未満	104 100.0	72 69.2	94 90.4	27 26.0	6 5.8	19 18.3	16 15.4	6 5.8	16 15.4	7 6.7	21 20.2	27 26.0	8 7.7	11 10.6	0 0.0	19 18.3
	250万円以上	83 100.0	52 62.7	57 68.7	12 14.5	2 2.4	11 13.3	17 20.5	4 4.8	9 10.8	6 7.2	22 26.5	12 14.5	3 3.6	7 8.4	5 6.0	15 18.1
	契約・嘱託	75 100.0	52 69.3	60 80.0	18 24.0	1 1.3	14 18.7	19 25.3	1 1.3	11 14.7	13 17.3	21 28.0	12 16.0	6 8.0	9 12.0	1 1.3	13 17.3
就業形 態	派遣社員	61 100.0	47 77.0	44 72.1	10 16.4	4 6.6	9 14.8	7 11.5	7 11.5	3 4.9	0 0.0	12 19.7	20 32.8	2 3.3	9 14.8	1 1.6	5 8.2
	パート・ アルバイト	53 100.0	27 50.9	49 92.5	19 35.8	1 1.9	11 20.8	4 7.5	13 24.5	8 15.1	5 9.4	9 17.0	18 34.0	5 9.4	11 20.8	1 1.9	15 28.3
	非常勤	27 100.0	16 59.3	23 85.2	1 3.7	1 3.7	1 3.7	2 7.4	1 3.7	0 0.0	0 0.0	6 22.2	3 11.1	2 7.4	0 0.0	2 7.4	3 11.1
	業務請負等	37 100.0	8 21.6	33 89.2	6 16.2	1 2.7	2 5.4	6 16.2	2 5.4	7 18.9	1 2.7	5 13.5	3 8.1	2 5.4	2 5.4	2 5.4	10 27.0

④ 仕事の悩みや不安の内容

Q.29 Q.28 の中で、とくに悩んだり、不安に感じていることはどのようなことですか。
よろしければ具体的にお書きください。(400字以内)

この設問に対しては、209人(261人中の80.1%)が何らかの内容を記述した。アンケート回答者数は「契約・嘱託」が最多であるが、この設問への回答件数は「派遣社員」が最も多くなっていることが注目される。

ここでは、記述内容を回答者の就業形態別に整理、抜粋した。

《派遣社員》(60件) ----- 「就業継続の不安」「孤立」「交通費なし」など

- 次を探す間は収入がなくて大変。40代以上でも正社員として働ける機会を増やしてほしい。または派遣社員でも、安心して働き続けることができるシステムをつくってほしい。(36歳)
- 病気になったら契約を切られ、収入がなくなってしまうのが不安。収入が少ないため、貯蓄もできない。(37歳)
- 残業不可なため収入が少ない。かけもちでバイトしているが、マイナンバー提示でできなくなるかと不安。(37歳)
- 部署内の歓送迎会など交流の場にこの3年間一度も呼ばれない。雑談がしづらく、日々の悩みを話す場がない。(39歳)
- 研修もない、セミナーや会議にも参加できない、出張もないので外の人と接する機会がない。(40歳)
- 派遣法改正でこの先どうなるかわからない。(41歳)
- 今の派遣期間が終わったら次があるか不安。(42歳)
- そのうち契約社員にと言われた会社で派遣社員をして5年になるが、契約社員にしてもらえない。収入は新卒の頃程度で、実家にいないとやっていけない。転職活動しても、年齢のため書類も通らない。同時に婚活もしているがうまくいかず。近い将来すら不安で、未来のことは恐ろしくて考えられない。(43歳)
- 職場が遠いが、交通費が出ない。(44歳)
- 20年近くずっと派遣社員なので、派遣先の社員が受けるような研修を受ける機会がなく、自分でつくらなければならない。先の保証がなく、不安。(46歳)
- 技術さえあればと考えて習得に努力してきたが、無駄になったようで悲観している。(47歳)
- (2015年秋の派遣法改正により) 専門26業種の派遣に3年の上限ができてしまった。現在の職場を3年後に辞めなければならず、困っている。(49歳)
- ローンや生活費のための借金があり、毎月どう返済するかが悩み。(48歳)
- 正規雇用ならある程度会社で負担してくれる部分があるが、非正規雇用だと交通費すら自己負担。リスクをとっているのに、給与にはリスクプレミアムがない。同一労働同一賃金では足りない。リスクに応じたプレミアムが付くべき。(48歳)
- 体力をとんでも使うので、いずれ体力的に無理になるし、足腰を痛めたら仕事ができなくなる。資格がないので、からだを壊したら終わりなのが不安。(50歳)

《契約・嘱託社員》(54件) -----
 「正社員との格差・低収入」「収入に見合わない責任の重さ」など

- 時給が低すぎて、社食の値段が高いので毎日の利用すらできない。(35歳)
- 契約更新されるかいつも不安。退職金もなく契約を切られて放り出されると、とたんに生活できなくなる。(36歳)
- 結婚＝失業の現実。結婚したら非正規女子は辞めるのがあたりまえとされている。「子ども生むならやめないとね」と上司。(37歳)
- 労働時間が長く、自分の時間がない。年収制なので残業代がつかない。深夜や休みの日でも上司から連絡が来る。(39歳)
- 責任のあるポジションで労働時間が長く、休養がとれない。慢性的な体調不良、自律神経失調。(39歳)
- 遠距離介護のため、休みをかためて取るようにしている。自分の休息のための休みがまったくない。休みたいなあ〜。(42歳)
- 外資なので、日本の景気が悪くなればすぐに撤退、部署の削減をしてしまう。(42歳)
- もっと仕事を任されるポジションで働きたい。外資系に転職して年収を倍にしたい。スキルになる仕事は自分から申し出て回してもらっている。(43歳)
- 売上が少なかったからと給料が下がった。よいときには上がらず、悪いと下がる。10年働いてやっと2年前に契約社員になれたが、有給休暇、残業代、健康診断などが無い。(44歳)
- 就業場所により収入が変わるので、年数が長くても異動により収入が減ることもある。資格を取っても収入に反映されないのがつらい。(44歳)
- 行政からの委託の仕事。予算の都合で仕事の有無が決まるので年度末は生きた心地がしない。(45歳)
- 介護職なので体力がもちそうにない。50歳になったら、今より安い仕事しかないだろうな。(46歳)
- 契約だからという理由で昇級も昇格も賞与もない。正社員の半分ぐらいの給料。主たる稼ぎ手が家族にいる人をイメージして給料が決められている。この給料で自立して生活する想定がされていない。生活できるレベルの仕事につきたい。(47歳)
- 収入が増えない。生活にゆとりがない。うつになりそう。老後が不安。自殺したくなる気持ちがある。同じ仕事をしているのに社員は昇級もあり、福利厚生も充実。こんな差別は海外ではない。(47歳)
- 正規雇用と変わらず責任の重い業務を担当しているのに、低賃金で期限付き。高い社会保険料や税金を払っているのに、(子育て支援のように)何の支援も、評価もない。契約終了後にまた仕事が見つかるかわからない。どうしたらよいのか……。 (48歳)
- 給料は変わらず、仕事が増えていく。(49歳)
- NPOで働いている。事務局は自分一人で実務の山。やりがいはあるが組織全体が自転車操業で毎年、来年存続しているのかわからない。(50歳)
- できる前提で採用されるので、入職後にほとんど教育がされない。(51歳)

《パート・アルバイト》(43件)-----
「時給が安すぎ、生活できず」「通院費出せず」「くたくた」など

- 月に22日出勤しても手取り10万程度。時給がとにかく低すぎる。(35歳)
- 人手不足で負担が増えている。(37歳)
- もっと働きたいのに、会社からは、人件費節約のために労働時間を短くすると言われる。(38歳)
- 飲食関係。閉店作業が時間内に終わらず、早く帰れと言われるが食中毒や異物混入などあったらと怖く、サービス残業というより自主的に残って働くかたちでつらい。(39歳)
- 更新して雇用継続が最長5年。業務内容は正規職と同じかそれ以上を求められる。休みが取れない。研修の受講も認められず、福利厚生も不十分。(41歳)
- 立ち仕事なので疲れる。(41歳)
- 通院費用を捻出できず、家族の支援を受けている。(42歳)
- 持病があり働けるのは週4日。それも休みがちで収入が低い。(47歳)
- 苦手な部署に異動に。薬を服用して続けているが、ストレスによる過食がとまらない。(47歳)
- できるだけ自炊を心がけ、ストレスをためないように、健康に気をつけているが、肉体労働でもあり、身体をこわせば働けなくなり収入はなくなる。なにかあっても病院には行けないだろう。(47歳)
- 障害者枠で就労。収入面で転職も考えているが、健康に不安があり、踏み出せない。(47歳)
- 介護職で時給850円では安い。上からの複数の指示の矛盾やパワハラ的な言葉。衛生面の不安もある。(48歳)
- 私は障害者。失業すると次の仕事を探すのが大変。(48歳)
- 企業の社員食堂でパート。無資格だと研修できる制度がない。夫の収入があるならいいが、親を亡くし、結婚もしていない私は、会社への不満と今後の生活への不安を持って生きている。(48歳)
- 介護が始まり、“後から介護生活に入ってくる人たち”へ何かを残しておきたいと思うようになった。そういうことを相談できる仲間がほしい。(50歳)
- アンケートは言葉が難しいが、調べる気力がない。別のパートを増やすか仕事を変えなくてはと思うが、くたくたで、休日は眠ってしまい、探す気力が出ない。あと3年ぐらいは生きられるか。(50歳)
- 今は母の年金と合わせて生活できているが、年金が途絶えたり、仕事がなくなったときのための蓄えはできていない。(51歳)
- 親の自宅介護のために選んだ個人商店(の職場)で、休みをとるのに気をつかう。仕事量が日によって時期によって違うため収入が不安定。他のバイトとかけもちでなんとかやっている。(53歳)

《業務請負等》（44件）----- 「かけもち」「持ち出し多い」「弱い立場」など

【非常勤講師】

- ケアの必要な身内がいる。自分の専門分野の公募はたまにしかない。運に任せるしかない。(37歳)
- 契約期間5年で雇止めの私立大学。2年後には仕事を失う。(40歳)
- 来年度仕事があるかどうか。(42歳)
- 授業の時間単価は3000円弱だが、準備や片付け、テスト作成などは無給のため平均時給800円ぐらい。税金、社会保険、家賃、光熱費を払うとほとんど残らない。貯金を切り崩している。(42歳)
- 勉強や研修のための費用がすべて自分持ちで出費がかさむ。(45歳)
- 専門知識を活かせる仕事は少なく、複数をかけもちして生活している。(46歳)
- 10数年前と比べて給料は変わらず、書類仕事や仕事の管理化が進み、窮屈。10コマはもたないと生活できないといわれるが、からだへの負担を考えて5コマしかもっていない。それでも研究との両立は難しく、研究面での支援もない。(47歳)

【在宅ワーカー・フリーランス等】

- 注文を受けてから食品を加工する仕事。自分のペースでできるのはよいが利益が薄く、生産量に限りあるため、このまま続けていいのか不安。(35歳)
- 完全出来高制。単価は円でなく銭の世界。収入増をめざすと時間過多になり、無理をしても時給制にはかなわない。(37歳)
- 10年以上も報酬は同じ。物価も、自分の技術力も上がっているのに値上げしてほしいが言い出せない。(39歳)
- 出版業界。仕事が減り、単価が落ちて、30年近く原稿料据え置き媒体もある。(41歳)
- フリーランスは下請けなので足元を見られる。タイトすぎる案件でも断りにくい。物品費扱いのため、安い賃金から消費税も取られる。(43歳)
- 介護中で、納期の責任ある仕事はこなせる状況になく、介護のすきまや夜間などにできる範囲で受注している。(49歳)

《現在無職》（8件）----- 「雇止め」「パワハラ」「研修なし」など

- 秘書を長くしているが雇止めを受けて心が辛い。自活しなければならず、経済的に不安。(40歳)
- ひどいパワハラを受け、改善するどころか悪化するような状況に追い込まれた。その最中に契約更新があったが、(今回は最後に) 次回の更新はないという内容を含む書類で更新させられた。(40歳)
- 行政の就労支援事業では職業(職種)についての概念が古く、偏りがあり、実際の市場の動向に疎すぎる。(44歳)
- 正職員に応募して二度採用されたが、二度ともろくに研修をしてもらえず、試用期間中の退職となった。(49歳)

4 今後に向けて

(1) 今後の希望

① 今後の希望

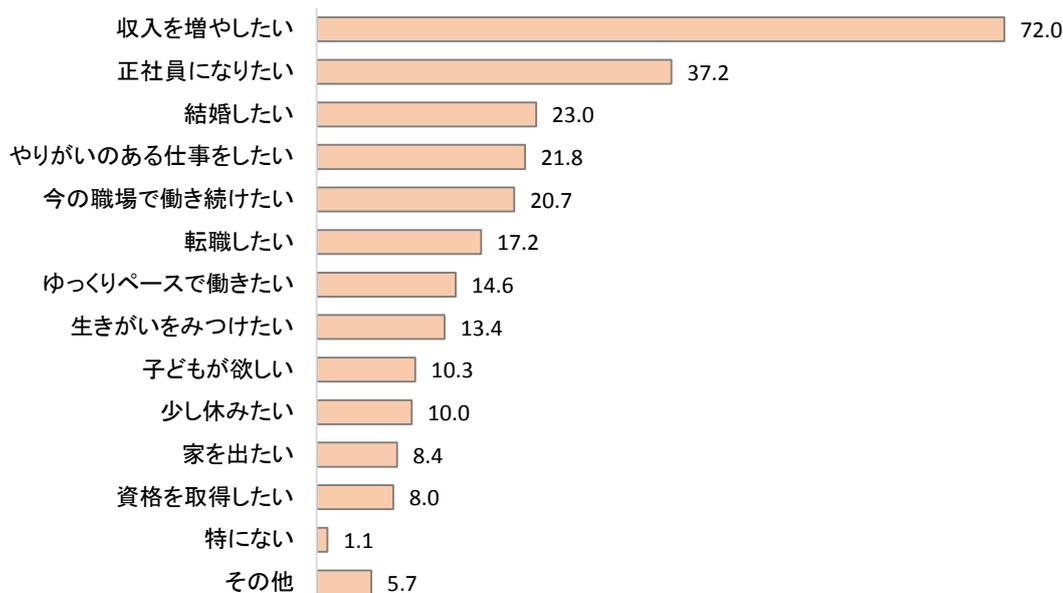
Q.30 あなたが今、望んでいることや、めざしたいことはなんですか。
あてはまるものを、3つまでお答えください。

今後の希望としては、「収入を増やしたい」が72.0%で、どの就業形態、年代、年収区分においても最多となっている。「正社員になりたい」が37.2%でこれに次ぎ、とくに「非常勤」で55.6%、「契約・嘱託」で49.3%と高率である。逆に「パート・アルバイト」では22.6%と低率であることが目立つ。他にも「やりがいのある仕事をしたい」、「今の職場で働きたい」、「転職したい」など、仕事に関する項目が上位を占めるが、「パート・アルバイト」および年収「150万円未満」では、「ゆっくりペースで働きたい」との回答も2割強から3割みられる。自身や家族の健康課題、介護等フルタイム勤務が難しい事情が背景にあると考えられる。「結婚したい」は23.0%、「生きがいをみつきたい」は13.4%、「子どもが欲しい」は10.3%となっている（全回答者の平均選択数2.64項目）。

なお、「その他」の記述内容としては、「健康になりたい」、「人脈を広げたい」、「生活保護から抜きたい」、「自立したい」など、能動的な志向性が多く示されているとともに、「3年切りを撤廃してほしい」、「まともな待遇を得たい」、「退職金、住居手当がほしい」など、社会や企業の側の改善を求める声も多数みられた。

◆Q.30 今後の希望 (MA) 【値の高い順】

n=261
(単位：%)



上段：人 下段：%	合計	Q.30 今後の希望 (MA)														
		今の職場 で働き続 けたい	転職した りたい	正社員に なりたい	収入を増 やしたい	やりがい のある仕 事をした い	ゆっくり ペースで 働きたい	少し休み たい	生きがい をみつけ たい	結婚した い	子どもが 欲しい	家を出た い	資格を取 得したい	特にな い	その他	
全体	261 100.0	54 20.7	45 17.2	97 37.2	188 72.0	57 21.8	38 14.6	26 10.0	35 13.4	60 23.0	27 10.3	22 8.4	21 8.0	3 1.1	15 5.7	
年齢	35～39歳	88 100.0	19 21.6	12 13.6	35 39.8	60 68.2	18 20.5	13 14.8	4 4.5	13 14.8	27 30.7	18 20.5	9 10.2	7 8.0	1 1.1	4 4.5
	40～44歳	79 100.0	14 17.7	16 20.3	29 36.7	58 73.4	15 19.0	12 15.2	5 6.3	10 12.7	17 21.5	8 10.1	6 7.6	7 8.9	0 0.0	6 7.6
	45～54歳	94 100.0	21 22.3	17 18.1	33 35.1	70 74.5	24 25.5	13 13.8	17 18.1	12 12.8	16 17.0	1 1.1	7 7.4	7 7.4	2 2.1	5 5.3
	55～59歳	100 100.0	22 22.0	18 18.0	40 40.0	78 78.0	26 26.0	14 14.0	18 18.0	10 10.0	18 18.0	6 6.0	8 8.0	5 5.0	1 1.0	2 2.0
最終学歴	中卒・高卒・ 高卒相当	39 100.0	6 15.4	11 28.2	16 41.0	28 71.8	12 30.8	7 17.9	2 5.1	6 15.4	4 10.3	2 5.1	2 5.1	4 10.3	0 0.0	4 10.3
	短大・ 専門学校卒	83 100.0	21 25.3	14 16.9	29 34.9	60 72.3	18 21.7	14 16.9	10 12.0	10 12.0	18 21.7	6 7.2	8 9.6	5 6.0	1 1.2	2 2.4
	大学・ 大学院卒	139 100.0	27 19.4	20 14.4	52 37.4	100 71.9	27 19.4	17 12.2	14 10.1	19 13.7	38 27.3	19 13.7	12 8.6	12 8.6	2 1.4	9 6.5
	同居状況	同居者あり	136 100.0	26 19.1	25 18.4	46 33.8	95 69.9	29 21.3	21 15.4	13 9.6	19 14.0	31 22.8	16 11.8	22 16.2	10 7.4	1 0.7
自身の 税込年 収	一人暮らし	125 100.0	28 22.4	20 16.0	51 40.8	93 74.4	28 22.4	17 13.6	13 10.4	16 12.8	29 23.2	11 8.8	0 0.0	11 8.8	2 1.6	6 4.8
	150万円未満	74 100.0	14 18.9	13 17.6	19 25.7	51 68.9	17 23.0	19 25.7	4 5.4	11 14.9	16 21.6	6 8.1	10 13.5	9 12.2	1 1.4	5 6.8
	150万円以上 250万円未満	104 100.0	25 24.0	14 13.5	41 39.4	75 72.1	25 24.0	16 15.4	14 13.5	12 11.5	28 26.9	14 13.5	9 8.7	8 7.7	1 1.0	5 4.8
	250万円以上	83 100.0	15 18.1	18 21.7	37 44.6	62 74.7	15 18.1	3 3.6	8 9.6	12 14.5	16 19.3	7 8.4	3 3.6	4 4.8	1 1.2	5 6.0
就業形 態	契約・嘱託	75 100.0	21 28.0	20 26.7	37 49.3	55 73.3	11 14.7	4 5.3	6 8.0	6 8.0	23 30.7	8 10.7	6 8.0	4 5.3	0 0.0	3 4.0
	派遣社員	61 100.0	13 21.3	10 16.4	24 39.3	42 68.9	15 24.6	10 16.4	6 9.8	10 16.4	16 26.2	5 8.2	1 1.6	4 6.6	0 0.0	5 8.2
	パート・ アルバイト	53 100.0	9 17.0	10 18.9	12 22.6	39 73.6	15 28.3	16 30.2	5 9.4	13 24.5	11 20.8	4 7.5	8 15.1	4 7.5	0 0.0	5 9.4
	非常勤	27 100.0	6 22.2	1 3.7	15 55.6	20 74.1	5 18.5	4 14.8	2 7.4	2 3.7	1 7.4	3 11.1	2 7.4	4 14.8	2 7.4	0 0.0
	業務請負等	37 100.0	5 13.5	4 10.8	4 10.8	28 75.7	10 27.0	2 5.4	7 18.9	2 5.4	6 16.2	6 16.2	5 13.5	2 5.4	1 2.7	1 2.7

② 取得したい資格

【Q.30で「資格を取得したい」を選んだ場合】どんな資格を取得したいですか。

幼稚園教諭免許第1種、保育士、社会福祉士といった教育・福祉職、行政書士、社会保険労務士、通訳案内士といった士業、アロマセラピスト、校正技能検定上級といった専門職などが、具体的にあげられている。

(2) サポートの利用意向

① 利用したいサポート

Q.31 今後利用してみたいサポートや参加してみたい場は、ありますか。いくつでもお答えください。

今後利用してみたいサポートや参加してみたい場についてたずねたところ、「仕事に必要なスキルアップの場」39.1%、「職業訓練・資格取得支援」38.3%、「心身がリフレッシュできる場」36.0%が上位にあげられた。「企業や仕事とのマッチングの場」29.5%、「同じ立場の人たちとの交流の場」28.4%、「住まいの支援」27.6%、「話を聞いてもらえる場」27.2%、「非正規職シングル女性の交流サイト」25.7%などがこれに続き、サポートニーズが多岐にわたっていることがわかる（全回答者の平均選択数 3.34 項目）。

「仕事に必要なスキルアップの場」は、属性の別なく高い。

「職業訓練・資格取得支援」へのニーズは、「中卒・高卒・高卒相当」で 64.1%と、とくに高く、就業形態別には「パート・アルバイト」で 50.9%、「派遣社員」で 50.8%、また、年収「150 万円未満」で 45.9%と高い。研修機会が少なく、経験年数を重ねてもスキルが積み上げられない状況がうかがわれる。

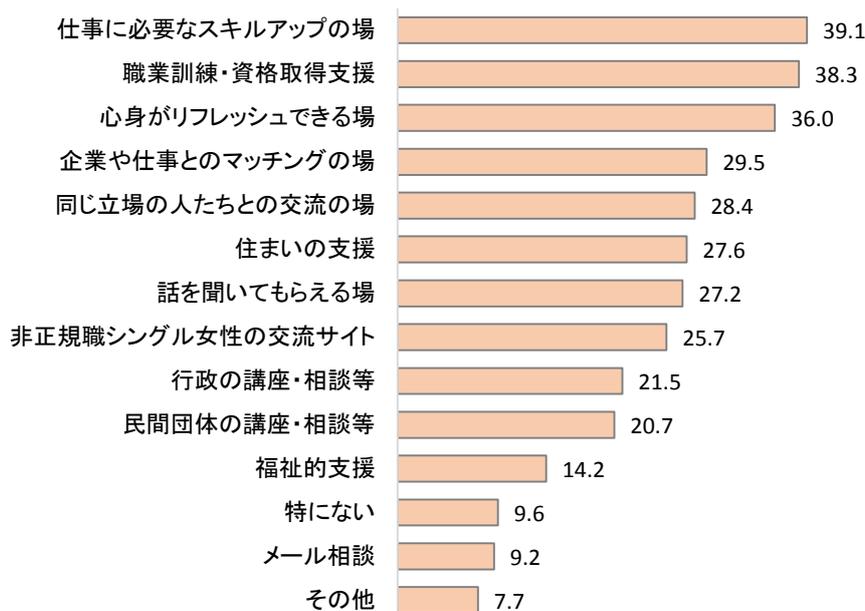
「心身がリフレッシュできる場」は、「パート・アルバイト」で 54.7%、年収「150 万円未満」で 43.2%と高くなっており、いずれも「福祉的支援」を約 3 割があげている。

「企業や仕事とのマッチングの場」へのニーズは、「契約・嘱託」で 40.0%、年収「250 万円以上」で 36.1%となっており、年収上位層で高い。

なお、「その他」の記述内容には、相談や交流の場に対するニーズが多くあげられた。

◆Q.31 利用したいサポート（MA）【値の高い順】

n=261
(単位：%)



上段：人 下段：%	合計	Q.31 利用したいサポート (MA)													
		職業訓練・資格取得支援	行政の講座・相談等	民間団体の講座・相談等	福祉的支援	同じ立場の人たちとの交流の場	企業や仕事とのマッチングの場	仕事に必要なスキルアップの場	心身がリフレッシュできる場	話を聞いてもらえる場	非正規職・シングル女性の交流サイト	メール相談	住まいの支援	特になし	その他
全体	261 100.0	100 38.3	56 21.5	54 20.7	37 14.2	74 28.4	77 29.5	102 39.1	94 36.0	71 27.2	67 25.7	24 9.2	72 27.6	25 9.6	20 7.7
年齢	35～39歳	88 100.0	39 44.3	20 22.7	21 23.9	12 13.6	22 25.0	28 31.8	37 42.0	33 37.5	23 26.1	7 8.0	21 23.9	10 11.4	4 4.5
	40～44歳	79 100.0	30 38.0	14 17.7	14 17.7	7 8.9	22 27.8	21 26.6	32 40.5	28 35.4	19 24.1	20 25.3	7 8.9	21 26.6	7 8.9
	45～54歳	94 100.0	31 33.0	22 23.4	19 20.2	18 19.1	30 31.9	28 29.8	33 35.1	33 35.1	29 30.9	25 26.6	10 10.6	30 31.9	8 8.5
最終学歴	中卒・高卒・高卒相当	39 100.0	25 64.1	9 23.1	11 28.2	11 28.2	11 28.2	10 25.6	15 38.5	10 25.6	11 28.2	6 15.4	12 30.8	5 12.8	1 2.6
	短大・専門学校卒	83 100.0	33 39.8	18 21.7	19 22.9	8 9.6	18 21.7	23 27.7	32 38.6	32 38.6	25 30.1	4 4.8	22 26.5	5 6.0	4 4.8
	大学・大学院卒	139 100.0	42 30.2	29 20.9	24 17.3	18 12.9	45 32.4	44 31.7	55 39.6	52 37.4	35 25.2	34 24.5	14 10.1	38 27.3	15 10.8
	同居状況	同居者あり	136 100.0	54 39.7	28 20.6	25 18.4	19 14.0	40 29.4	37 27.2	47 34.6	39 28.7	39 28.7	14 10.3	33 24.3	12 8.8
自身の税込年収	一人暮らし	125 100.0	46 36.8	28 22.4	29 23.2	18 14.4	34 27.2	40 32.0	55 44.0	46 36.8	32 25.6	28 22.4	10 8.0	39 31.2	13 10.4
	150万円未満	74 100.0	34 45.9	20 27.0	24 32.4	22 29.7	31 41.9	17 23.0	30 40.5	32 43.2	31 41.9	28 37.8	9 12.2	22 29.7	10 13.5
	150万円以上 250万円未満	104 100.0	44 42.3	22 21.2	21 20.2	13 12.5	28 26.9	30 28.8	40 38.5	39 37.5	31 29.8	26 25.0	13 12.5	30 28.8	7 6.7
	250万円以上	83 100.0	22 26.5	14 16.9	9 10.8	2 2.4	15 18.1	30 36.1	32 38.6	23 27.7	9 10.8	13 15.7	2 2.4	20 24.1	8 9.6
就業形態	契約・嘱託	75 100.0	22 29.3	16 21.3	9 12.0	3 4.0	20 26.7	30 40.0	29 38.7	27 36.0	13 17.3	4 5.3	14 18.7	5 6.7	5 6.7
	派遣社員	61 100.0	31 50.8	12 19.7	14 23.0	8 13.1	14 23.0	19 31.1	29 47.5	19 31.1	18 29.5	6 9.8	18 29.5	4 6.6	4 6.6
	パート・アルバイト	53 100.0	27 50.9	19 35.8	18 34.0	16 30.2	24 45.3	10 18.9	24 45.3	29 54.7	24 45.3	23 43.4	11 20.8	18 34.0	4 7.5
	非常勤	27 100.0	6 22.2	3 11.1	2 7.4	3 11.1	4 14.8	6 22.2	6 22.2	6 22.2	6 22.2	4 14.8	1 3.7	6 22.2	0 0.0
	業務請負等	37 100.0	8 21.6	4 10.8	6 16.2	4 10.8	8 21.6	8 21.6	10 27.0	10 27.0	5 13.5	8 21.6	2 5.4	14 37.8	6 16.2

② 福祉的支援の希望

【Q.31で「福祉的支援」を選んだ場合】どのような福祉的支援を利用してみたいですか。さしつかえなければお書きください。

経済的な支援に関する記述が最も多く、次いで、親の介護に関わる支援があげられている。メンタルケアなど、自身のケアに関わる事項もみられる。

③ 参加できる曜日・時間帯

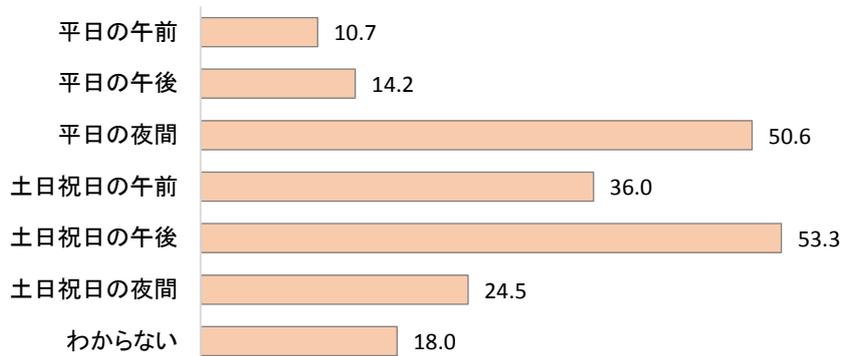
Q. 32 利用したいサポートや交流の場などがあつたとして、あなたが参加できそうな曜日や時間帯は、いつですか。あてはまるものを、いくつでもお答えください。

サポートや交流について参加できる日時については、「土日祝日の午後」と「平日の夜間」が多く、「土日祝日の午前」がこれに次いでいる。

「土日祝日の午後」の希望は「派遣社員」や「契約・嘱託」でとくに高く、「パート・アルバイト」および年収「150万円未満」では「平日の夜間」が第1位となっている。

◆Q. 32 参加できる曜日・時間帯 (MA)

n=261
(単位：%)



上段：人 下段：%	合計	Q. 32 参加できる曜日・時間帯 (MA)							
		平日の 午前	平日の 午後	平日の 夜間	土日祝日の 午前	土日祝日の 午後	土日祝日の 夜間	わから ない	
全体	261 100.0	28 10.7	37 14.2	132 50.6	94 36.0	139 53.3	64 24.5	47 18.0	
年齢	35~39歳	88 100.0	10 11.4	12 13.6	47 53.4	38 43.2	49 55.7	25 28.4	12 13.6
	40~44歳	79 100.0	9 11.4	12 15.2	39 49.4	30 38.0	38 48.1	18 22.8	17 21.5
	45~54歳	94 100.0	9 9.6	13 13.8	46 48.9	26 27.7	52 55.3	21 22.3	18 19.1
最終学歴	中卒・高卒・ 高卒相当	39 100.0	7 17.9	8 20.5	13 33.3	9 23.1	17 43.6	7 17.9	9 23.1
	短大・ 専門学校卒	83 100.0	8 9.6	10 12.0	51 61.4	35 42.2	44 53.0	20 24.1	11 13.3
	大学・ 大学院卒	139 100.0	13 9.4	19 13.7	68 48.9	50 36.0	78 56.1	37 26.6	27 19.4
	同居状況	同居者あり	136 100.0	16 11.8	23 16.9	58 42.6	52 38.2	80 58.8	28 20.6
自身の 税込年 収	一人暮らし	125 100.0	12 9.6	14 11.2	74 59.2	42 33.6	59 47.2	36 28.8	21 16.8
	150万円未満	74 100.0	14 18.9	22 29.7	30 40.5	19 25.7	25 33.8	11 14.9	15 20.3
	150万円以上 250万円未満	104 100.0	8 7.7	9 8.7	57 54.8	39 37.5	62 59.6	30 28.8	21 20.2
	250万円以上	83 100.0	6 7.2	6 7.2	45 54.2	36 43.4	52 62.7	23 27.7	11 13.3
就業 形態	契約・嘱託	75 100.0	2 2.7	4 5.3	40 53.3	32 42.7	45 60.0	23 30.7	11 14.7
	派遣社員	61 100.0	1 1.6	1 1.6	37 60.7	28 45.9	43 70.5	17 27.9	7 11.5
	パート・ アルバイト	53 100.0	10 18.9	13 24.5	24 45.3	18 34.0	20 37.7	9 17.0	12 22.6
	非常勤	27 100.0	1 3.7	1 3.7	11 40.7	5 18.5	12 44.4	5 18.5	6 22.2
	業務請負等	37 100.0	14 37.8	15 40.5	16 43.2	10 27.0	12 32.4	8 21.6	11 29.7

④ ほしいサポート

Q.33 社会の中でこんなサポートがあったらうれしい、というようなご意見やご要望がありましたら、自由にお書きください。(600字以内)

この設問に対しては、131人(261人中の50.2%)が何らかの内容を記述した。

その内容は、相談・情報・場等の具体的なサポートについて以前に、税制や社会保障制度、社会のしくみについての意見が多くなっており、抜本的な問題解決が望まれている。

ここでは、記述された意見を「A 社会のしくみについての意見」、「B 具体的なサポートについての意見・希望」、「C 本アンケート調査や問題の立て方についての意見」に3区分した。その上で、AとBはテーマごとに要約し、類似の意見はまとめた。

《A 社会のしくみについての意見》-----

【仕事・雇用・賃金等】

- アルバイトの最低賃金を上げてほしい。
- 経験と実績に見合った給料・条件を。
- たとえ派遣でも安心して働き続けられるしくみがほしい。
- 派遣会社に派遣社員の交通費を支給させる施策を。
- 給料安くてもせめて福利厚生、休暇、賞与等で正社員に近づきたい。
- 同一労働・同一賃金を促進してほしい。給与の差は働く時間による差などであってほしい。
- 年齢による求人差別を厳しくして。正社員が増える仕組みを。
- 40代以上の女性でも正社員の機会を。年齢がいくと主婦のパート職しかない。シングルであることは想定されていない。
- 国家試験に合格しても非正規職、かつ責任の重い仕事。正規職との格差がありすぎる。女一人でも生きていくためには非正規職ほど時給を上げて。
- 正規職との不公正な条件格差に対して実態調査をし、是正勧告してくれる機関がほしい。
- ミスマッチ防止のため、面接後に一定期間実際に働いてもらい、働きぶりを見て互いに確認して本採用するしくみを。
- 管理職への希望をもつ非正規職のスタッフにチャンスを。
- 家族の事情や体調不安があってもそれを考慮した働き方ができるよう、事業主に理解促進を。
- 不調で休職した人も再出発しやすい、年齢制限のない教育訓練等のしくみを。
- フルタイムで働く人と時短で働く人が職場で補い合えるしくみ。ワークシェアリングを。
- 仕事以外なにもできないような長時間労働の解消を。

【生活・生き方等】

- 子どもの保育園から大学までの無償化あるいは低価格化。図書館やスポーツセンターのようなイメージで。
- 病気になったとき、独りではできないことに遭遇したときに「ちょっと手を貸してくれる」サービスがほしい。
- 財産や人脈がなくても老後孤独を感じずに過ごし、安らかに永眠できる場所がほしい。
- 性別年齢にかかわらず気の合う人たちと家族になれるシステム。
- 同性婚等の(認知がなされた)制度がほしい。

第2章 ウェブアンケート調査の結果

【社会保障・税制等】

- 社会保険料・税金の免除や減額の範囲を広げてほしい。税金等で主婦パートとの差がありすぎる。
- 配偶者控除や第三号被保険者制度をなくし、シングル単位の税制に。女性が貧困であり続けるのはカップル優遇の各種制度のため。
- パートの扶養控除の年収制限をなくし、時給や勤務日数が抑制されないようにしてほしい。
- 収入によりレンタカー割引や公共交通料金割引や公共料金割引などを。
- 病気などで休職中の場合の補償を法的に義務づけ。
- 非正規労働者共済年金制度や退職金制度。
- 保証人制度を公的なものにする。
- 非正規労働者の産休・育休取得の義務づけ。
- 不妊治療（公的助成）の年齢制限は悲しい。
- 親の施設入所にかかる費用は収入から控除に。
- ベーシックインカム⁸があれば。

【社会のあり方】

- 新聞やテレビなどメディアでももっと現状把握して取り上げてほしい。女性といえば子どもを生んで、仕事もして、社会も支援しているというきれいごとばかりでなく。
- 既婚者や子育て世帯にはいろいろな支援や控除があるが、独身者にはなく、厳しい。結婚や子どもの有無は個人の自由であり、そのことで生きづらくなるのはおかしい。生涯独身の人もこれから増えるのでは。社会や政治にそうした視点を。
- シングルの人にもっとやさしい社会であってほしい。
- 発達障害に対して会社の理解が進むよう啓発を。
- トランスジェンダーの女性。前職で性暴力に遭う。公的な相談機関での理解促進を。
- 正社員にしないため、3年や5年で非正規職を切る職場がほとんど。この実態とそこで働く人の声をもっと知られてほしい。経営側の意見が強すぎる。
- 派遣で不当な差別を受けたときに訴えられる、調査権限も持つ独立した機関がほしい。
- 非正規職の人を正規職として雇用した際の企業への補助金や雇用促進を行う機関が必要。
- 非正規職の実態を調査し、社会や行政に働きかける統一的な組織が必要。

《B 具体的なサポートについての意見・希望》-----

【仕事・就活等】

- 生涯働けるスキル習得の支援と充実。支援基金。語学やパソコンなどの研修、海外研修。夜間の講座。無料か受講費補助のあるかたちで。
- 面接突破のため、面接時の服装や履歴書写真のアドバイスを。
- 適性やこれまでの経験を見て相談を受け、仕事を紹介してくれるしくみ。転職サイトでは仕事が見つからなくなってきた。契約が切れるのが怖い。

⁸ 就労や資産の有無にかかわらず、すべての人に対して生活に最低限必要な所得を無条件に給付するという社会政策。

- シングル女性に特化したハローワークを。
- 偏見なく正規雇用してくれる企業とのマッチングや交流機会。30代では正社員に応募さえできない。
- 資格を取っても経験がないと採用されないので実務を経験する場。
- メンタルトレーニング。
- 低料金で、土日や夜間に開いている就職・生活等の相談窓口。行政の無料の就職相談は現場を知らない相談員で役に立たないことも多かった。
- 自営や小さな個人事業主のための相談。
- 税金・健康・キャリアアップの相談窓口や講座が夜間や早朝、土日に開いていること。不安な気持ちを話せる、困ったときの総合的窓口。

【住まい・介護・健康・食事・結婚・終活など】

- 低家賃の住まいの優先的な提供。公営住宅の単身者、友人同士への開放、家賃補助(10件以上のコメントあり)。
- 低収入の女性でも安心して住めるアパートなどの支援。ひきこもりや障害のある人に宿泊や住居支援があるように。
- 初期費用や保証人の要らない低家賃の空き家活用やルームシェア、住まい・住人マッチングの支援。
- (同居か否かを問わず) 親の介助・介護のための相談や情報提供。介護が必要になったら仕事を減らすか、やめざるをえない。親が亡くなっても仕事復帰できる望みもないため。
- 無料で(曜日や頻度など) 利用しやすい健康相談・健康診断・健康関連情報の充実。
- ネット予約できる家事援助窓口。
- 非正規職の人向けの低価格婚活サービス。
- 生むこと(で貧困になるリスク)をためらわずにすむ社会環境の整備。子どもと過ごせる時間が持てる時給の設定や食事補助など。妊娠したら失業するのでは子育てできない。
- 元気なうちにお願ひできる終活の支援。親の家や多少の遺産の相続や寄付先などの情報も。
- 住まいや仕事がなくなったときの避難場所を作してほしい。
- 食事の提供が格安で受けられる場所。

【交流や相談の場】

- 同じ立場の女性が交流できる場。コミュニティ創設へのサポート。
- いろいろな年代や仕事の人と出会える場所。知識やモノがシェアできる場。
- 結婚してもしなくても安心して生きていけるシングル女子のライフモデルを考えるワークショップや交流会。仕事・生活・介護などの情報や思いをわかちあいたい。
- 40代~50代の女性が利用しやすいコミュニティセンターがあれば。区役所は遠い。
- 同世代で話せる場。
- ただ話を聴いてくれる窓口がほしい。宗教ではなく。
- 友人の相談を受けられる、無料か格安の雨風をしのげる場所。
- ネット上の交流の場。
- サポートメニューに簡単にアクセスできるポータルサイト。

第2章 ウェブアンケート調査の結果

- 精神疾患を持っていても働ける、結婚できるというような、当事者主体の交流の場。
- 単身独身女性をテーマとした冊子や書籍等の刊行や、講演会、シンポジウムなど。それにより、社会の関心が集まるとよい。
- 事情があり、フルタイムで働けない人もいる。土日は仕事があったり、シフト制のため毎週決まった曜日に休めない人も多い。個々の事情に合ったきめ細かいサポートが受けられるとよい。
- 非正規労働者の権利主張や地位向上を目的に活動できる場所がほしい。

《C 本アンケート調査や 問題の立て方についての意見》-----

- このアンケートに答えていて、私は今まで「しないといけないこと」、「すべきこと」に追われて「したいこと」について考えることがなかったことに気づいた。改めて「受けたいサポート」や「したいこと」を考えてみる事ができた。(42歳、パート・アルバイト)
- ジェンダーの問題はとかく可視化しにくく、個人の選択の問題とされがち。労働問題として扱うからには、労働における排除の構図やシステム、対応策などを可視化し、企業や施策の担い手に迫ることが必要。このアンケートも集計・分析にとどまらず、施策にまで踏み込んでほしい。(48歳、業務請負等)
- 中年以上の非正規職独身女性に壁となっているのは「金と時間と自由がある」、「自ら選んでいる」、「親が裕福」などの世間の偏見と企業の体質。見ぬふりをしてきた国と行政。このアンケートが実施されて、メディアを使い、拡散してもらっただけでも第一歩。(42歳、業務請負等)
- サポートではなく、既得権益を持つ人々の特権をなくし、是正していく方向を望む。弱者をサポートするという視点が見えるこの設問は、独身女性をバカにしているのではないか。(37歳、業務請負等)
- 性産業で働く女性も含まれることを想定した非正規労働者の支援や相談態勢というのは、あまり考えられていない。非正規職といえば派遣労働者やパートアルバイトが一般的。このアンケートでもたとえば就業形態などセックスワーカーは答えにくい。セックスワーカーも含む非正規労働者のサポート態勢にどのように参考になるのかと思う。(39歳、業務請負等)
- 今現在困難な立場にある人々に対する行政による「サポート」はあるべきだし、歓迎する。しかし一方で、一時的・部分的なサポートでは困難な状況を生み出す現状を変えることはできない。非正規雇用の問題は男女を問わず政治的に解決されるべき構造の問題なので、行政には「サポート」の現場で明らかになった問題を広く知らしめることで、問題の根源的な解決につながる政治への橋渡し役をも期待したい。(40歳、派遣社員)